

# **STAR**

# **コーンハーベスター**

## **取扱説明書・部品表**

**製品コード** K38142

**型式** MCH2820

**部品供給型式** ACF2820-01

**部品ご注文の際は、必ず部品供給型式をご連絡ください。**

**“必読”機械の使用前には必ず読んでください。**

---

**スター農機株式会社**



# 安全に作業するため

## 安全に関する警告について

本機には、印付きの警告ラベルを貼付しています。安全上、特に重要な項目を示しています。警告を守り、安全な作業を行ってください。

### 警告ラベルについて

#### 危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性が高いことを示します。

#### 警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

#### 注意

その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあることを示します。

#### 注意

本機を運転するときには、必ず取扱説明書をよくお読み下さい。  
 1. 作業に適した、だぶつきのない服装で行って下さい。  
 2. 酒を飲んだとき、過労ぎみ、病気や妊娠しているときは、作業をして下さい。  
 3. 本機を運転するときは、周囲の安全を確認して下さい。  
 4. 運転前には、必ず点検や調整をして下さい。  
 5. 点検や調整をするときは、必ずPTOなどの動力遮断や動力停止（エンジン、電源など）をしてから行って下さい。  
 6. 点検・調整で取り外したカバー類は、必ず元通りに取り付け下さい。  
 7. 他人に本機を貸すときは、必ず「取扱説明書」をよく読んでから作業するようすすめて下さい。



部品番号 106164

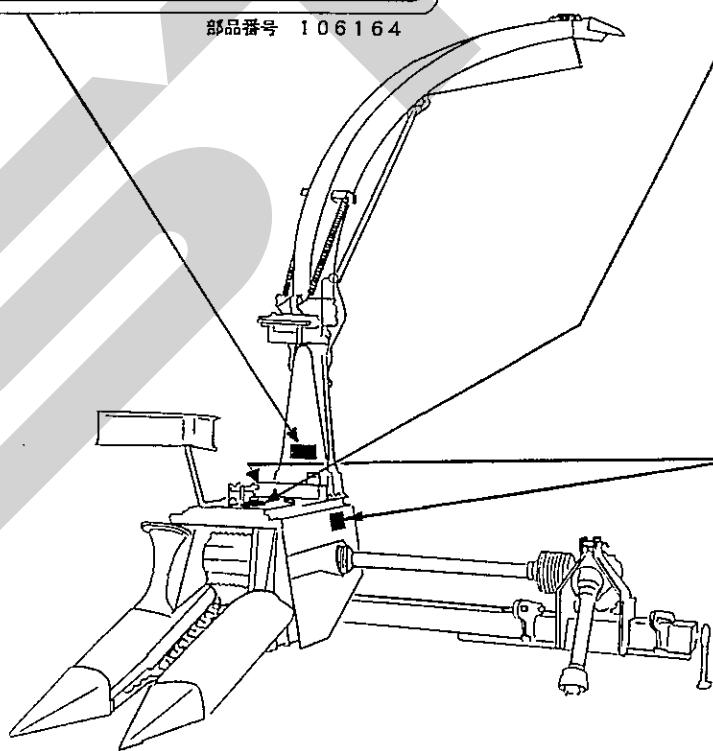
#### 警告



ナイフを研磨する時、ナイフに接触すると、ケガをすることがあります。

ナイフの研磨手順に従って行って下さい。

部品番号 106480



#### 注意



運転中又は回転中、カバーを開けると回転物に巻き込まれ、ケガをすることがあります。

カバーを開けないで下さい。

部品番号 106171

## — ラベルが損傷した時は —

警告ラベルは、使用者および周囲の作業者などへ危険を知らせる大事なものです。

ラベルが損傷した時は、すみやかに貼り替えてください。

注文の際には、この図に示す 部品番号 をお知らせください。

## 安全操作上の注意点

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害を生じる恐れがあります。

作業前には、トラクタの取扱説明書並びに本取扱説明書及びロークロップアタッチメント・コーン引起し装置（オプション）の取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解をしてからご使用ください。

### 作業前に

取扱説明書は製品に近接して保存を

#### ▲注意

- 機械の取り扱いで分からぬ事があった時、取扱説明書を製品に近接して保存していないため、自分の判断だけで対処すると思わぬ事故を起こしけがをすることがあります。  
取扱説明書は、分からぬ事があった時にすぐに取り出せるよう、製品に近接して保存してください。

取扱説明書をよく読んで作業を

#### ▲注意

- 取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領の不十分な理解のまま作業すると、思わぬ事故を起こすことがあります。  
作業を始める時は、製品に貼付している警告ラベル、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項・取扱要領を十分に理解してから行ってください。

こんな時は運転しないでください

#### ▲警告

- 体調が悪い時、機械操作に不慣れな場合などに運転すると、思わぬ事故を起こすことがあります。  
次の場合は、運転しないでください。

- 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時。
- 酒を飲んだ時。
- 機械操作が未熟な人。
- 妊娠している時。

服装は作業に適していますか

#### ▲警告

- 作業に適さない服装で機械を操作すると、衣服の一部が機械に巻き込まれ、死亡を含む傷害をまねくことがあります。  
次に示す服装で作業してください。

- 袖や裾は、だぶつきのないものを着用する。

- ズボンや上着は、だぶつきのないものを着用する。
- 帽子を着用する。
- はしまき、首巻きタオル、腰タオルなどはしない。

機械を他人に貸す時は

#### ▲警告

- 機械を他人に貸す時、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領が分からぬいため、思わぬ事故を起こすことがあります。  
取扱い方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前にはよく読むように指導してください。

機械の改造禁止

#### ▲注意

- 機械の改造や、当社指定以外のアタッチメント・部品などを取り付けて運転すると、機械の破損や傷害事故をまねくことがあります。  
機械の改造はしないでください。  
アタッチメントは、当社指定製品を使用してください。  
部品交換する時は、当社が指定するものを使用してください。

始業点検をする時は

#### ▲注意

- 始業点検を怠ると、機械の破損や傷害事故をまねくことがあります。  
作業を始める前には、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

エンジン始動・発進する時は

#### ▲警告

- エンジンを始動する時、トラクタの横やステップに立ったまま行うと、緊急事態への対処ができず、運転者はもちろん周囲にいる人がケガをすることがあります。  
運転席に座り、周囲の安全を確認してから行ってください。

- エンジンを始動する時、主変速レバーを「N」（中立）にして行わないと、変速機が接続状態になっているため、トラクタが暴走し思わぬ事故を起こすことがあります。  
主変速レバーを「N」（中立）にして行ってください。

- P T Oを切らないでエンジンを始動すると、急に作業機が駆動され、周囲にいる人がケガをすることがあります。  
P T Oを切ってから始動してください。

- 急発進するとトラクタ前輪が浮き上がる事があり、運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んだり、思わぬ事故を起こすことがあります。

周囲の安全を確認し、ゆっくりと発進してください。

### 作業機を着脱する時は

#### ▲警告

- 作業機を着脱するためにトラクタを移動させる時、トラクタと作業機の間に人があると、挟まれてケガをすることがあります。  
トラクタと作業機の間に人を近づけないでください。

#### ▲注意

- 作業機をトラクタに着脱する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動き出し、思わぬ事故を起こすことがあります。  
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- ハーベスター本体にアタッチメントを取り付ける時、衝突させると本体がバランスを崩し、後方に転倒しケガをすることがあります。  
トラクタに本体を連結してからアタッチメントを取り付けてください。
- 装着するトラクタによっては、前輪荷重が軽くなり、操縦が不安定となって、思わぬ事故をまねくことがあります。  
トラクタへフロントウエイトを取り付け、バランスを取ってください。
- バッテリからバッテリケーブルを外すときは（-）側から外し、取り付けるときは（+）側から行ってください。  
もし、逆にすると作業中工具がトラクタに接触した時火花が生じ、火災事故の原因になります。

### パワージョイントを使用する時は

#### ▲危険

- カバーのないパワージョイントを使用すると、巻き込まれてケガをすることがあります。  
カバーのないパワージョイントは、使用しないでください。
- カバーが損傷したまま使用すると、巻き込まれてケガをすることがあります。  
損傷したらすぐに取り替えてください。  
使用前には、損傷がないか点検してください。
- トラクタおよび作業機に脱着する時、第三者の不注意により、不意にパワージョイントが回転し、ケガをすることがあります。  
P T Oを切り、トラクタのエンジンをとめて行ってください。
- カバーのチェーンを取り付けないで使用すると、カバーが回転し、巻き込まれてケガをすることがあります。トラクタ側と作業機側のチェーンを回転しない所に連結してください。

#### ▲注意

- 最伸時の重なりが100mmを下回ると、ジョイントを回転させた時、破損しケガをすることがあります。  
最縮時の隙間が25mmよりも小さくなると、ジョイントの突き上げが起きることがあり、ジョイントの破損をまねき、ケガをすることがあります。  
適正な重なり量で使用してください。
- パワージョイントを接続した時、クランプピンが軸の溝に納まっていると、使用中に外れ、ケガをすることがあります。  
溝に納まっているか、接続部を押し引きして確かめてください。

### 公道走行時は作業機の装着禁止

#### ▲注意

- トラクタに作業機を装着して公道を走行すると、道路運送車両法に違反します。  
トラクタに作業機を装着しての走行はしないでください。

### 移動走行する時は

#### ▲危険

- 移動走行する時、トラクタのブレーキペダルが左右連結されていないと、片ブレーキになり、トラクタが左右に振られ横転などが起こり、思わぬ事故をまねくことがあります。  
ほ場での特殊作業以外は、ブレーキペダルは左右連結して使用してください。

#### ▲警告

- トラクタに運転者以外の人を乗せると、トラクタから転落したり、運転操作の妨げになって、緊急事態への対処ができず、同乗者はもちろん、周囲の人および運転者自身がケガをすることがあります。  
トラクタには、運転者以外の人は乗せないでください。
- 急制動・急旋回を行うと、運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んだり、思わぬ事故を起こすことがあります。  
急制動・急旋回はしないでください。
- 坂道・凹凸地・急カーブで速度を出しすぎると、転倒あるいは転落事故を起こすことがあります。  
低速走行してください。

- 旋回する時、作業機が旋回方向とは逆方向にふくれるため、周囲の人に接触しケガをさせたり、対向物・障害物に衝突しケガをすることがあります。  
周囲の人や対向物・障害物との間に十分な間隔を保って行ってください。
- 側面が傾斜していたり、側溝がある通路で路肩を走行すると転落事故を起こすことがあります。  
路肩は走行しないでください。

- 高低差が大きい段差を乗り越えようとすると、トラクタが転倒あるいは横転し、ケガをする事があります。あゆみ板を使用してください。
- 作業機の上に人を乗せると、転落し、ケガをする事があります。  
また、物を載せて走行すると、落下し、周囲の人へケガを負わせる事があります。  
作業機の上には、人や物などはのせないでください。
- ▲注意**
- 作業機への動力を切らないで走行すると、周囲の人を回転物に巻き込み、ケガを負わせる事があります。  
移動走行する時は、P T Oを切ってください。

## 作業中は

- ▲警告**
- 作業をする時、周囲に人を近づけると、機械に巻き込まれ、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないで下さい。
- 作業機指定のP T O回転速度を超えて作業すると、機械の破損により、ケガをする事があります。  
指定回転速度を守ってください。
- 作業機の上に人を乗せると、転落し、ケガをする事があります。  
また、物を載せて作業すると、落下し、周囲の人へケガを負わせる事があります。  
作業機の上には、人や物などはのせないでください。
- 傾斜地で速度を出しすぎると、暴走事故をまねく事があります。  
低速で作業してください。  
下り作業をする時、坂の途中で変速すると、暴走する原因となります。  
坂の前で低速に変速して、ゆっくりとおりてください。
- わき見運転をすると、周囲の障害物の回避や、周囲の人への危険回避などができる、思わぬ事故を起こす事があります。  
前方や周囲へ、十分に注意を払いながら運転してください。
- 手放し運転をすると、思わぬ方向へ暴走し、事故を起こす事があります。  
しっかりとハンドルを握って運転してください。

- ▲注意**
- 機械の調整や、付着物の除去などをを行う時、P T Oおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こ

す事があります。  
P T Oを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確めて行ってください。

## トラクタから離れる時は

- ▲警告**
- トラクタから離れる時、傾斜地や凹凸地などに駐車すると、トラクタが暴走して思わぬ事故を起こす事があります。  
平坦で安定した場所に駐車し、トラクタのエンジンをとめ、駐車ブレーキをかけて暴走を防いでください。
- トラクタから離れる時、作業機をあげたままにしておくと、第三者の不注意により不意に降下し、ケガをする事があります。  
下限まで降ろしてからトラクタを離れてください。

## 作業が終わったら

### 機体を清掃する時は

- ▲注意**
- 動力を切らずに、回転部・可動部の付着物の除去作業などを行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。  
P T Oを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

### 終業点検をする時は

- ▲注意**
- 作業後の点検を怠ると、機械の調整不良や破損などが放置され、次の作業時にトラブルを起こしたり、ケガをする事があります。  
作業が終わったら、取扱説明書に基づき点検を行ってください。
- 3点リンクで作業機を持ち上げて点検・調整を行う時、第三者の不注意により、不意に降下し、ケガをする事があります。  
トラクタ3点リンクの油圧回路をロックして行ってください。

## 不調処置・点検・整備をする時

### ▲警告

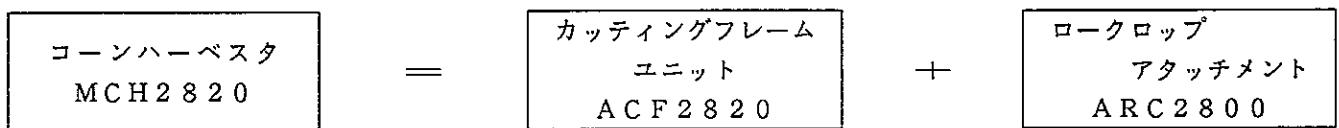
- ナイフを研磨する時、ナイフに接触するとケガをする事があります。  
ナイフの研磨手順に従って行ってください。

### ▲注意

- ナイフを調整する時、不意にフライホイールが回転し取り付けられたナイフでケガをすることがあります。  
フライホイールの回り止めを確實に行い、作業してください。
- ナイフを研磨する時、目に飛散物が入りケガをする事があります。  
保護メガネを着用してください。
- 機械に異常が生じた時、そのまま放置すると、破損やケガをする事があります。  
取扱説明書に基づき行ってください。
- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出して、思わぬ事故を起こす事があります。  
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- P T O およびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。  
P T Oを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 作業機をあげた状態のまま下にもぐったり、足を入れたりすると、不意に降下し、ケガをする事があります。  
下に入る時は、台などで降下防止をして行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。  
元通りに取り付けてください。

## ユニットの組み合わせについて

お買いあげいただいたコーンハーベスターは以下のユニットの組み合わせで構成されております。



本取扱説明書・部品表は、カッティングフレームユニット A C F 2 8 2 0 の部分について記載しております。  
他のユニットの取扱説明書・部品表はそのユニットに付属しております。

尚、台風等で倒伏した長稈作物（デントコーン、トウモロコシ、ソルガム）の刈り取り時、隣接した畦からの分離を補助するために使用する コーン引き起こし装置 A L C 2 8 0 0 および、牧草の拾い上げ、細断に使用する ピックアップアタッチメント A P U 2 8 0 0 をオプションとして用意しております。

# もくじ



## 安全に作業するために

安全に関する警告について	1	作業が終わったら	4
作業前に	2	不調処置・点検・整備をする時	5
作業中は	4		

### 1

## トラクタへの装着

1 各部の名称とはたらき	9	2. スイッチボックスの取付・配線	11
2 適応トラクタの範囲	10	5 パワージョイントの装着	12
3 組立部品	10	1. 長さの確認方法	12
1. 解梱	10	2. 切断方法	13
2. 組立部品の明細	10	3. 安全カバーの脱着方法	13
3. 組立	10	4. パワージョイントの連結	13
4 トラクタへの装着	11		
1. 3点リンクへの ドッキングフレームの連結	11		

### 2

## 運転を始める前の点検

1 運転前の点検	14	2 エンジン始動での点検	14
1. トラクタ各部の点検	14	1. 駆動系統の点検	14
2. 連結部の点検	14	2. トラクタ油圧系統の点検	14
(1) 3点リンクの連結部点検	14		
(2) パワージョイントの点検	14		
3. 製品本体の点検	14		
4. アタッチメントの点検	14		
		3 給油箇所一覧表	15

### 3 作業の仕方

1 本 製 品 の 使 用 目 的	..... 1 6	5. スクレーパの調整 .....	1 8
1. ロークロップアタッチ装着時	..... 1 6	6. ナイフとボトムプレートの調整 .....	1 8
2. ピックアップアタッチ装着時	..... 1 6	7. 切断長さの調整 .....	1 8
2 作 業 要 領	..... 1 6	8. 機体姿勢の調整 .....	1 8
3 各 部 の 調 整	..... 1 6	9. シュートの折りたたみ .....	1 8
1. ナイフの研磨 .....	1 6		
2. シャバーの調整 .....	1 7		
3. ナイフの調整 .....	1 7		
4. フィードロールスプリングの調整	.. 1 7		

### 4 作業が終わったら

1 作 業 後 の 手 入 れ	..... 1 9	2 長 期 格 納 す る 時	..... 1 9
-----------------	-----------	-----------------	-----------

### 5 点検・整備について

1 点 検 整 備 一 覧 表	..... 2 0
-----------------	-----------

### 6 不調時の対応 .....

2 1

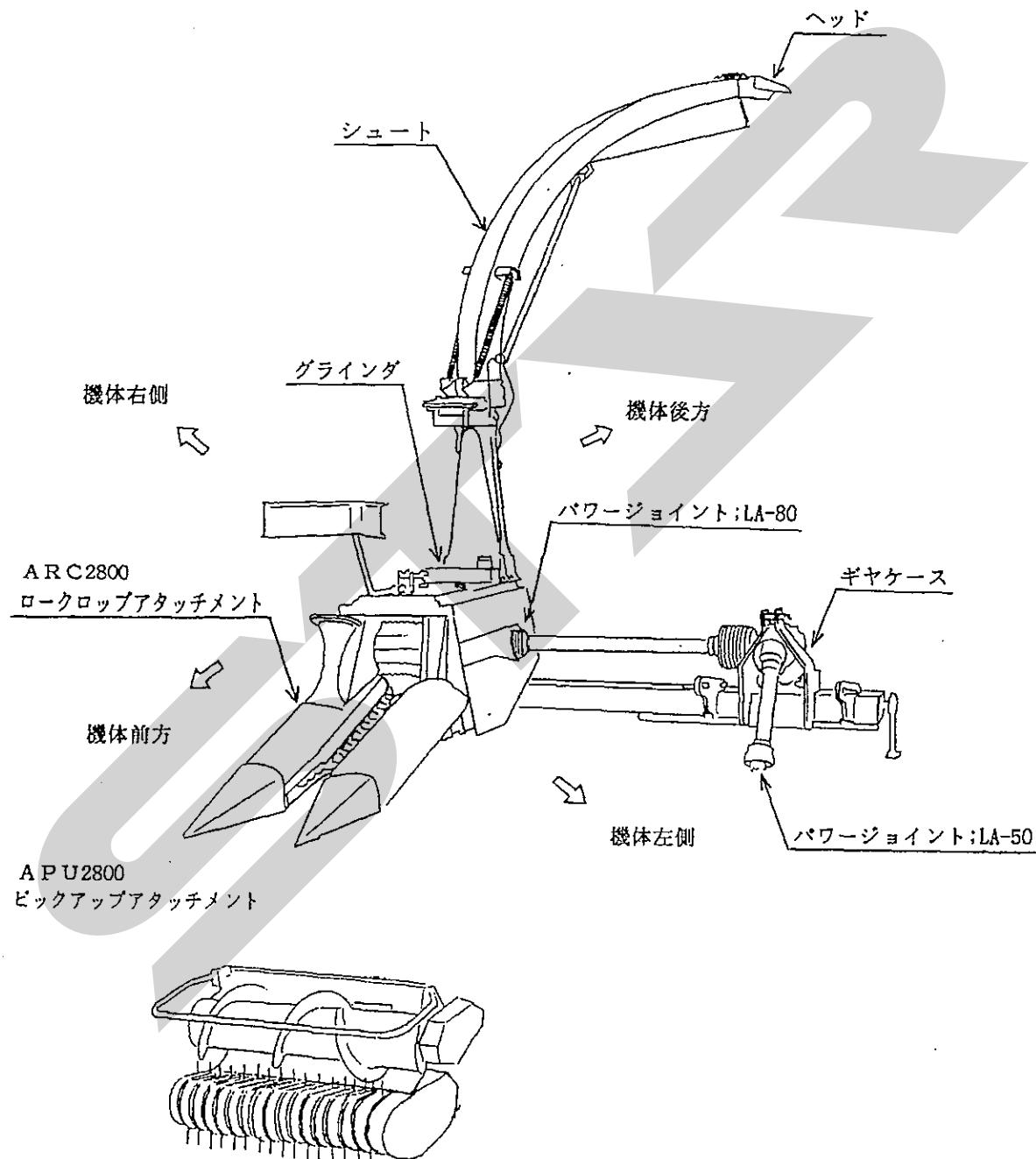
### 7 部 品 表 .....

2 2

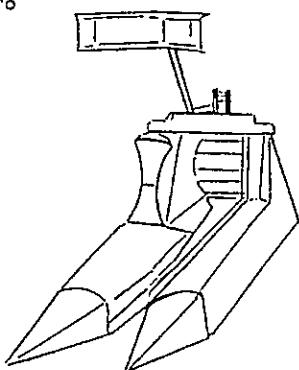
# 1 トラクタへの装着

適切な装着で安全な作業をしましょう。

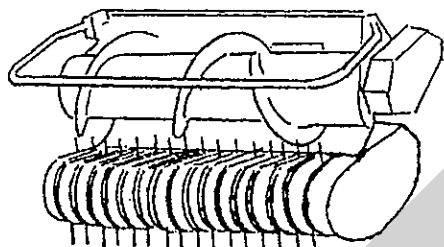
## 1 各部の名称とはたらき



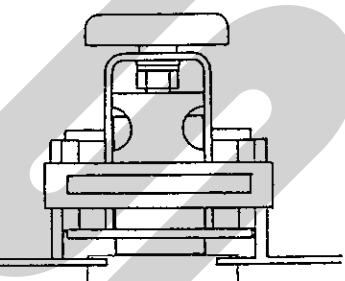
1. ロークロップアタッチメント A R C 2800  
ハーベスター本体に連結し長稈作物の刈り取りに  
使用します。  
取り扱いについては A R C 2800 の取扱説明書を  
ご覧ください。



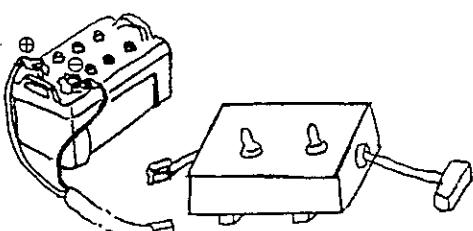
2. ピックアップアタッチメント A P U 2800  
ハーベスター本体に連結し牧草の拾い上げに使用  
します。  
取り扱いについては A P U 2800 の取扱説明書を  
ご覧ください。



3. グラインダ  
ナイフを研磨する装置です。



4. スイッチボックス  
トラクタに座ったままショットの回動、ヘッド  
の上下作動に使用します。



## 2 適応トラクタの範囲

本製品は、適切なトラクタとの装着により的確に性能を発揮できるよう設計されています。

不適切なトラクタとの装着によっては、本製品の耐久性に著しく影響を及ぼしたり、トラクタの運転操作に著しい悪影響を及ぼすことがあります。

この製品の適応トラクタ馬力は次のとおりです。

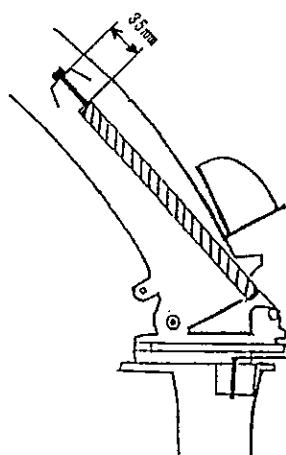
適応トラクタ馬力	
コーンハーベスター MCH2820	45~80 PS

本製品の適応馬力より小さなトラクタで使用すると、負荷に対し十分なパワーがないことがあります。

逆に、適応馬力よりも大きなトラクタでの使用時には、過負荷に対し機体の適正値を超えたパワーがでてしまい、作業機の破損の原因になることがあります。

## 3 組立部品

- 解 構  
木枠に固定している部品をほどいてください。
- 組立部品の明細  
梱包に同梱されている梱包明細に基づき、必要部品が揃っているか確認してください。
- 組 立  
各部品の組立に必要なボルト、ナット類は、梱包明細の符号を参照してください。  
(1) タイヤ、イクステンションバー、スタンドを取り付ける。  
(2) ダクトを本体に取り付ける。  
(3) ダクトにシートを取り付ける。  
(4) シート折りたたみのスプリングを取り付け  
る。長さ調整は図示寸法を参考に操作力を確か  
めながら行ってください。



- (5) その他の部品は部品表及び梱包明細を参考に  
取り付けてください。

## 4 トラクタへの装着

### 1. 3点リンクへの連結

#### ▲警告

- 作業機を着脱するためにトラクタを移動させる時、トラクタと作業機の間に人がいると、挟まれてケガをすることがあります。トラクタと作業機の間に人を近づけないでください。

#### ▲注意

- 作業機をトラクタに着脱する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動き出し、思わぬ事故を起こすことがあります。平坦で地盤のかたい所で行ってください。

- (1) トラクタのエンジンを始動して、トラクタのロワーリンク先端部と作業機の左右のロワーリンクピンの位置が合うまで後進して、トラクタをとめてください。  
エンジンをとめ駐車ブレーキをかけてください。
- (2) 左のロワーリンクを連結し、抜けどめにトラクタに付いているリンチピンをロワーリンクピンに差してください。  
次に、右のロワーリンクも同順で行ってください。
- (3) 左右のロワーリンクが同じ高さになるように、トラクタ右側のアジャストスクリューで調整してください。
- (4) トラクタロワーリンク内幅が狭い場合は、ロワーリンクピンを内向きに組替えて使用してください。
- (5) 作業機の3Pフレームをトラクタ3点リンクで持ち上げた時、3Pフレームがほぼ垂直に持ち上がるよう<sup>に</sup>作業機のトップリンクピン穴位置を選んでトップリンクを連結し、抜けどめをしてください。
- (6) トラクタのエンジンを始動し、トラクタのロワーリンクを昇降する油圧レバーを操作して作業機を少し上げ、エンジンを止めてください。
- (7) 作業機のP.I.C軸芯がトラクタ中心におおよそ一致する位置に、チェックチェーンあるいはスタビライザーでセットし、作業機の横振れをなくしてください。
- (8) 3点リンクを下げ、作業機をおろしてください。

### 2. スイッチボックスの取付・配線(シート・ヘッドのリモコン操作)

- (1) コード；1(電源コード)をバッテリーターミナルへ取り付けます。

コード；1(電源コード)のターミナルはトラクタのバッテリーのターミナルを止めているボルトと共に締めにしますので、バッテリーから(-)、(+)共にコードを外してください。  
(コードを外すときは、(-)側から外してください。)

トラクタのバッテリコードのナットを外しコード；1(電源コード)のターミナルを取り付けナットを締め付けます。(バッテリーターミナルへ取り付けるときは(+)側から取り付けてください。)

コードの極性は、白色が(+)、黒色が(-)です。

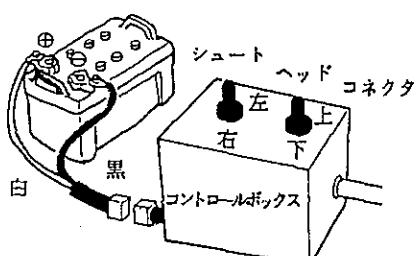
#### ▲注意

- バッテリーからバッテリーケーブルを外す時は(-)側から外し、取り付けるときは(+)側から行ってください。  
逆にすると作業中工具がトラクタに接触した場合、火花が生じ、火災事故の原因になります。

#### 取扱い上の注意

コード；1(電源コード)をバッテリーターミナルへ取り付ける時の誤作動を防ぐためスイッチボックスに取り付けず、コード単体で行ってください。

- (2) スイッチボックスをトラクタの操作し易い場所に取り付けてください。  
スイッチボックスの取付は、磁石で行うので、できるだけ平らな面に取り付けてください。
- (3) コード；1のソケットとスイッチボックスのソケットを接続してください。
- (4) 本体側のヘッド・シート用コードのソケットとスイッチボックスのソケットを接続してください。
- (5) 取り付け終了後は、各スイッチが表示通りの作動をするか確認してください。



#### 取扱い上の注意

アタッチメントの取り付けは、それぞれの取扱説明書をお読みください。

## 5 パワージョイントの装着

### ▲ 危険

- カバーのないパワージョイントを使用すると、巻き込まれてケガをすることがあります。カバーのないパワージョイントは、使用しないでください。
- カバーが損傷したまま使用すると、巻き込まれてケガをすることがあります。損傷したらすぐに取り替えてください。使用前には、損傷がないか点検してください。
- トラクタおよび作業機に着脱する時、第三者の不注意により、不意にパワージョイントが回転し、ケガをすることがあります。PTOを切り、トラクタのエンジンをとめて行ってください。
- カバーのチェーンを取り付けないで使用すると、カバーが回転し、巻き込まれてケガをすることがあります。トラクタ側と作業機側のチェーンを回転しない所に連結してください。

### ▲ 注意

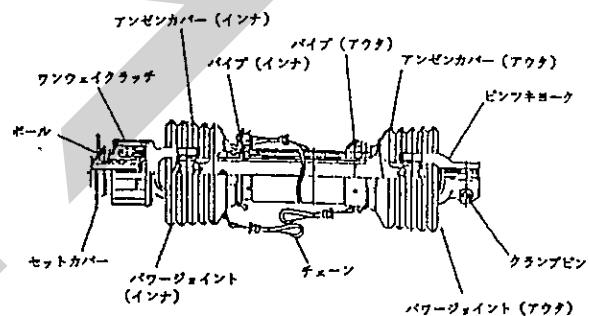
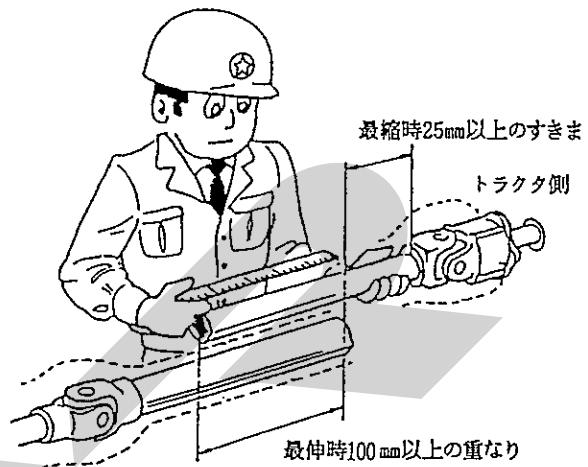
- 最伸時の重なりが100mmを下回ると、ジョイントを回転させた時、破損しケガをすることがあります。最縮時の隙間が25mmよりも小さくなると、ジョイントの突き上げが起きることがあり、ジョイントの破損をまねき、ケガをすることがあります。適正な重なり量で使用してください。

### 1. 長さの確認方法

- パワージョイント単体で、最縮長時の安全カバー（アウタ）端部位置を安全カバー（インナ）にマーキングしてください。
- パワージョイント（アウタ）から、パワージョイント（インナ）を引き抜いてください。
- 3点リンクを昇降させて、PTO軸とP I C軸が最も接近する位置で、昇降を停止してください。
- ピンツキヨークのクランプピンを押して、P I C軸に連結し、クランプピンがもとの位置に出るまで押し込んでください。
- ワンウェイクラッチのセットカバーを引いて、PTO軸に連結し、PTO軸の溝にボルトがはまり込むまで押し込んでください。
- 安全カバーどうしを重ね合わせた時、安全カバー（アウタ）端部位置とマーキング位置の間隔が25mm以下の場合は、25mmの間隔を保つように切断方法の手順に基づき切断してください。

(7) 3点リンクを昇降させて、PTO軸とP I C軸が最も離れる位置で、昇降を停止してください。

(8) 安全カバーどうしを重ね合わせた時、パイプの重なりが100mm以下の場合は、販売店に連絡し、長いパワージョイントと交換してください。

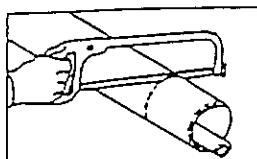


← トラクタPTO軸

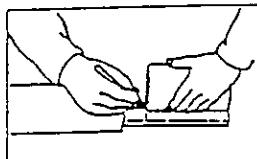
→ 作業機P I C軸 →

## 1. 切断方法

(1) 安全カバーのアウタとインナ両方を長い分だけ切り取ります。

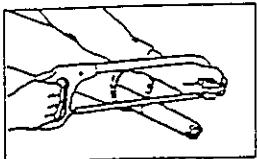


(2) 切り取った同じ長さをパイプ先端から計ります。



(3) パイプのアウタとインナ両方を金ノコまたはカッターで切断します。

切断する時はパイプの中にウエスを詰め、切り粉がパイプ内面に付着するのを防いでください。

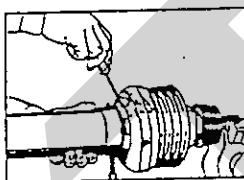


(4) 切り口をヤスリなどでなめらかに仕上げてからパイプをよく清掃し、次にグリースを塗布して、アウタとインナを組み合わせます。

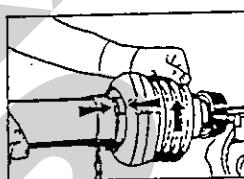
## 3. 安全カバーの脱着方法

(1) 安全カバーの分解手順

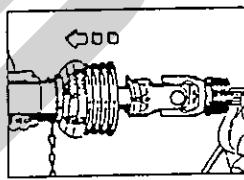
① 固定ネジを取り外してください。



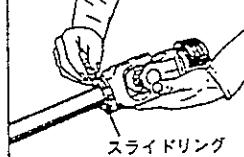
② 安全カバーを取り外し位置へ回してください。



③ 安全カバーを引き抜いてください。

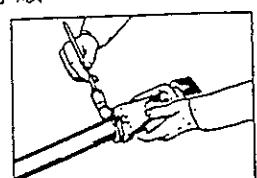


④ スライドリングを取り出してください。

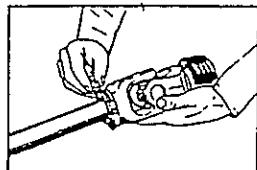


## (2) 安全カバーの組立手順

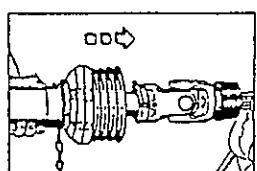
① ヨークのスライドリング溝とパイプ(インナ)グリースを塗ってください。



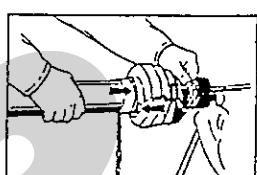
② スライドリングのつばをパイプ側に向け、切口を開いて溝にはめてください。



③ その上に、安全カバーをはめてください。



④ カバーをしっかりと止まるまで回してください。



⑤ 固定ネジを締め付けてください。

## 4. パワージョイントの連結

(1) ピンツキヨークのクランプピンを押して、作業機のP I C軸に連結し、クランプピンがもとの位置に出るまで押し込んでください。

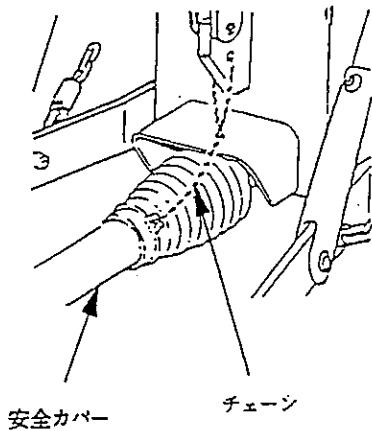
また、ワンウェイクラッチのセットカバーを引いてトラクタ P T O軸に連結し、P T O軸の溝にボールがはまり込むまで押し込んでください。

### ▲ 注意

- パワージョイントを接続した時、クランプピンおよびボールが軸の溝に納まっていないと、使用中に外れ、ケガをすることがあります。溝に納まっているか、接続部を押し引きして確かめてください。

(2) 安全カバーのチェーンを固定した所に取り付け、カバーの回転を防いでください。

チェーンは3点リンクの動きに順応できる余裕を持たせ、また他への引っかかりがないように余分なたるみを取ってください。



## 2 運転を始める前の点検

機械を調子よく長持ちさせるため、作業前に必ず行いましょう。

### 1 運 転 前 の 点 検

#### 1. トラクタ各部の点検

トラクタの取扱説明書に基づき点検を行ってください。

#### 2. 連結部の点検

##### (1) 3点リンクの連結部点検

- ① ロワーリンクリング・トップリングクリップのリング・ベータピンは、確実に挿入されているか。
- ② チェックチェーンは張られているか。
- ③ 不具合が見つかった時は、「1-4-1 3点リンクへの連結」の説明に基づき不具合を解消してください。

##### (2) パワージョイントの点検

- ① ジョイントの抜け止めのクランプピンが軸の溝に納まっているか。
- ② ジョイントカバーのチェーンの取付に余分なたるみはないか。また、適度な余裕があるか。
- ③ ジョイントカバーに損傷はないか。  
損傷している時は、速やかに交換してください。
- ④ 不具合が見つかった時は、「1-5 パワージョイントの連結」の説明に基づき不具合を解消してください。

#### 3. 製品本体の点検

- (1) 各部の取付ボルト、ナットのゆるみはないか。  
不具合が見つかった時は増し締めしてください。
- (2) 各部の給油は十分か。  
油脂が不足している時は「2-3 紙油箇所一覧表」の説明に基づき給油してください。

#### 4. アタッチメントの点検

ロークロップアタッチメント・ピックアップアタッチメントはそれぞれの取扱説明書に基づき点検してください。

### 2 エンジン始動での点検

#### A 警告

- PTOを切らないでエンジンを始動すると、急に作業機が駆動され、周囲にいる人がケガをすることがあります。  
PTOを切ってから始動してください。

#### 1. 駆動系統の点検

新品の使い始め、シーズンの使い始めの時には、ならし運転を行ってください。

ロークロップアタッチメント・ピックアップアタッチメントはそれぞれの取扱説明書に基づき点検してください。

(1) トラクタのエンジンを始動し、エンジン回転を低速にして、PTOを入れてください。

(2) エンジン回転速度1000rpm程度で5~6分ならし運転を行い、異常な発熱や異常音がないか点検してください。

(3) 异常がなければ、PTO回転速度540~600 rpmで約5分、空運転を行ってください。

不具合が見つかった時は、「6-1 不調処置一覧表」に基づき不具合を解消してください。

(4) PTOを切った時、パワージョイントのワンウェイクラッチが作動することを確認してください。

「カチ、カチ」と音を発生しながら作業機の駆動がとまれば異常ありません。

不具合が見つかった時は、「6-1 不調処置一覧表」に基づき不具合を解消してください。

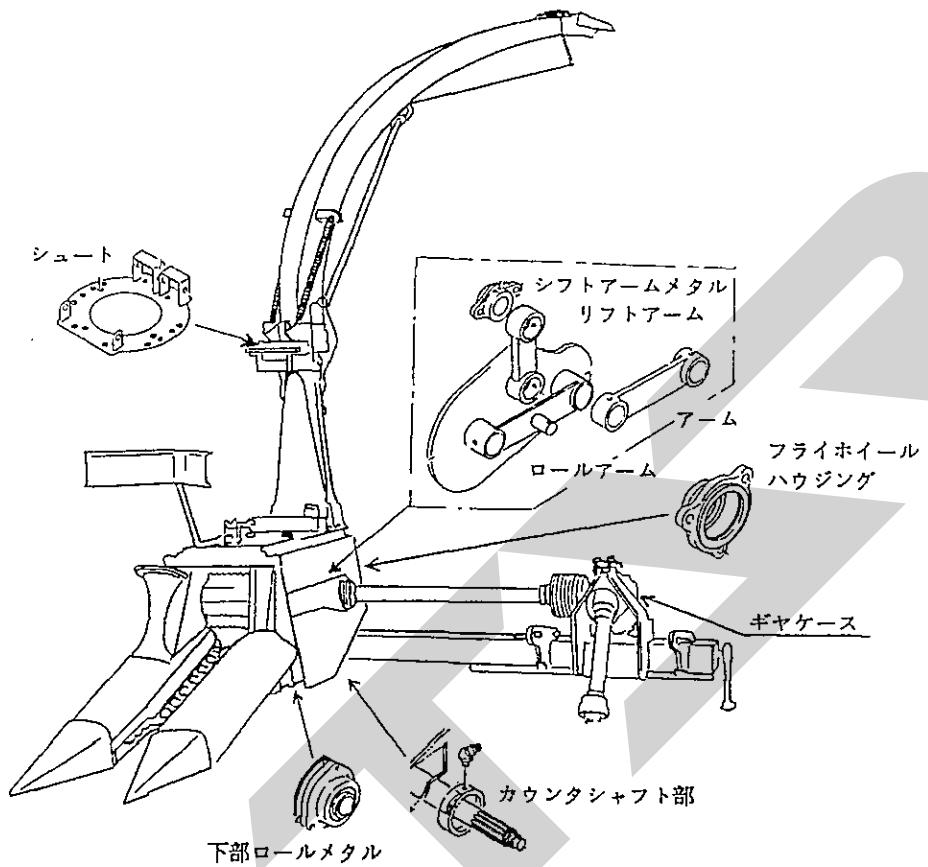
#### 2. トラクタ油圧系統の点検

トラクタ油圧を操作し、3点リンクを上昇し、本作業機を持ち上げた状態で、降下がなければ異常はありません。

トラクタ油圧系統などに異常がある時は、トラクタ販売店にご相談ください。

### 3 給油箇所一覧表

- 給油・塗布するオイルは清浄なものを使用してください。
- グリースを給脂する場合、適量とは古いグリースが排出され新しいグリースが出るまでです。



No.	給油場所	個所	潤滑油の種類	交換時期	量	備考
1	ギヤケース	1	ギヤオイル#90	使用当初25~30時間 その後シーズン毎	レベルまで	オイル交換
2	フライホイールハウジング	2	グリース	使用毎	適量	給脂
3	カウンタシャフト部	2	"	"	"	"
4	下部ロールメタル	4	"	"	"	"
5	ロールアーム	4	"	"	"	"
6	シフトアームメタル	2	"	"	"	"
7	リフトアーム	4	"	"	"	"
8	アーム	4	"	"	"	"
9	シュート	5	"	"		グリース塗布
10	ローラチェーン	5	オイル	"		オイル塗布
11	パワージョイント	-	グリース	"	適量	給脂 グリース塗布

### 3. 作業の仕方

安全を確認して慎重に作業してください。

#### 1 本 製 品 の 使 用 目 的

1. ロークロップアタッチ装着時  
長穀作物（デントコーン、トウモロコシ、ソルガム）の条播の刈り取りに使用します。  
これ以外の目的には使わないでください。
2. ピックアップアタッチ装着時  
牧草の飼料調整に使用します。  
これ以外の目的には、使わないでください。

#### 2 作 業 要 領

作業の手順はロークロップアタッチメント、ピックアップアタッチメントでそれぞれの取扱説明書をご覧ください。

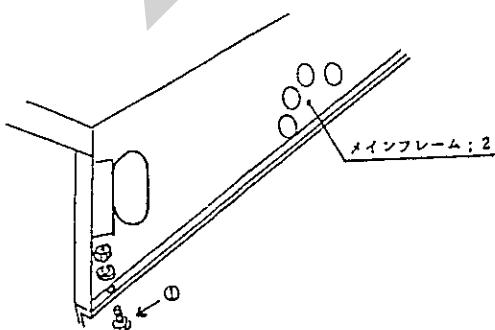
#### 3 各部の調整(快適な作業のために)

##### 《上下フレームの分割方法》

ナイフの調整とプレーンロールとスクレーパの隙間調整は、上下フレームを持ち上げておこないます。

以下の手順でフレームを分割してください。

- (1) シュートを真後ろへ向けます。
- (2) 左側の上下に伝動するローラチェーンを外します。
- (3) メインフレーム；2の取付けボルト①を外します。
- (4) フレーム後方のボトムプレートとダクトをとめているボルトをはずします。
- (5) シュートのステーのピンをはずし、ステーを下へゆっくり引いてください。



#### A 注意

- 上下フレームを分割した後、上フレームが不意に降下して挟まれ、ケガをすることがあります。  
シュートとフレームをロープ等で連結してください。

#### 1. ナイフの研磨

ナイフが摩耗したままで使用すると切断長さの不均一、馬力アップなど性能低下の原因となります。次の手順で研磨してください。

#### A 警 告

- ナイフを研磨する時、ナイフに接触するとケガをすることがあります。  
ナイフの研磨手順に従って行ってください。

#### A 注意

- ナイフを研磨する時、目に飛散物が入ることがあります。  
保護メガネを着用してください。

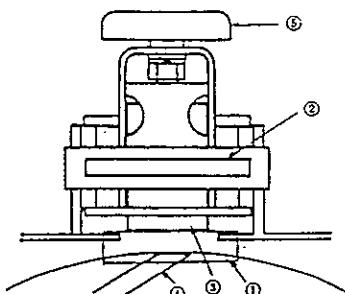
(1) カバー（図①）をはずし、研磨ハンドル（図②）をゆるめ、トイシ（図③）をナイフ（図④）に近づけ、研磨ハンドルを締め付け、トラクタPTOを始動します。

研磨時のPTO回転数は最低速で行ってください。

(2) 研磨ハンドルを左右にスライドさせ1往復ごとにハンドルをゆるめ、キャップスクリュー（図⑤）を45度ずつ手でまわし、トイシを下げていきます。時計と反対方向にまわすとトイシは下がります。

この動作を繰り返すことによりナイフは均一に円筒研磨されます。

(3) 研磨が終わったらトラクタエンジンを停止させ、本体の回転が完全に停止してから、トイシを上げ、カバーを元の位置に入れ、トイシでカバーを動かないようにし、ハンドルをロックしてください。



## 2. シャバーの調整

シャバーの調整はナイフの研磨同様大変重要です。

少ない馬力で均一な切断長を得るためにナイフ研磨ごと、もしくはナイフ研磨2回に1回の割合でシャバーの調整をしてください。

上下フレームの分割方法に従ってフレームを分割します。

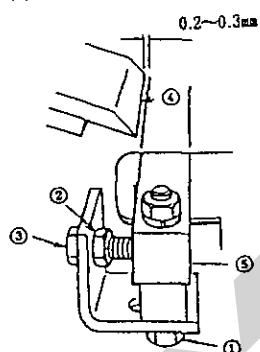
### ▲ 注意

- ナイフを調整する時、不意にフライホイールが回転し、取り付けられたナイフでケガをすることがあります。フライホイールの回り止めを確実に行い、作業してください。

(1) ボルト①及びロックナット②をゆるめ、ボルト③を締め込みナイフ④に近づけます。

(2) ナイフとシャバー⑤のスキマが0.2~0.3mmになるように調整します。

(3) 調整後はボルト①を締め、次にロックナット②を締め付けます。



## 3. ナイフの調整

ナイフは次の場合再調整します。

- 新しいナイフを付ける時
- シャバー（受刃）が調整限度となった時
- ナイフとボトムプレート（下ケーシング）の間隔が大きく、吹上力が低下した時。

上下フレームの分割方法に基づきフレームを分割します。

### ▲ 注意

- ナイフを調整する時、不意にフライホイールが回転し、取り付けられたナイフでケガをすることがあります。フライホイールの回り止めを確実に行い、作業してください。

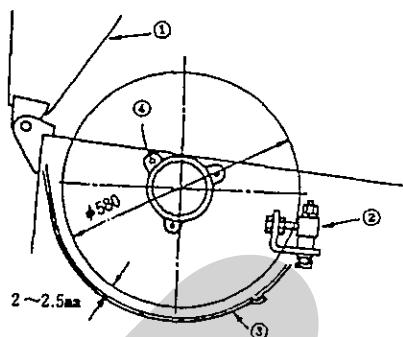
(1) シャバー（図②）をはずし、各部のゴミやサビを取り除きます。

(2) 刃先円直径は580mm（図示）になるようナイフ一枚を取り付け、シャバー②を取り付け固定します。

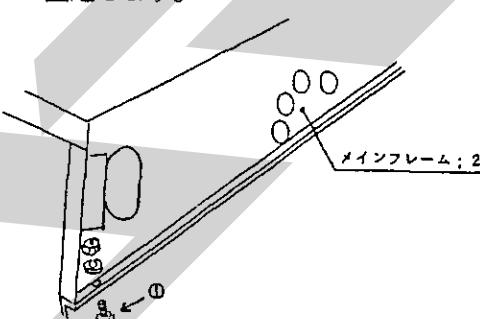
(3) ナイフの取り付けボルトを軽く締込み、シャバーとのスキマが0.2~0.3mmになるようにシャバーを調整します。

(4) この時、ナイフ先端とボトムプレート③のスキマが2~2.5mmあることを確認します。

(5) ナイフの取り付けボルトを完全に締め付けます。（締付トルクは16kg·mです。）



(6) メインフレーム；2をおろし、取り付けボルトで固定します。



(7) 全てのナイフが同一円をまわるように研磨してください。（「3-3-1 ナイフの研磨」参照）

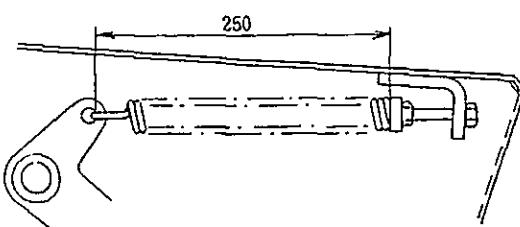
### 取扱い上の注意

ナイフ取付ボルト及びワッシャは特殊品を使用しています。

S T A R 純正部品以外は使用しないでください。

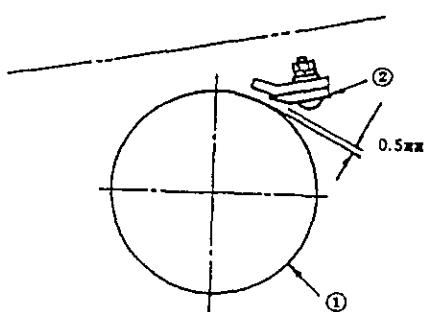
## 4. フィードロールスプリングの調整

ロールスプリングの張りは250mmになるように調整します。



## 5. スクレーパの調整

プレーンロール①とスクレーパ②のスキマは、0.5mm位に調整します。

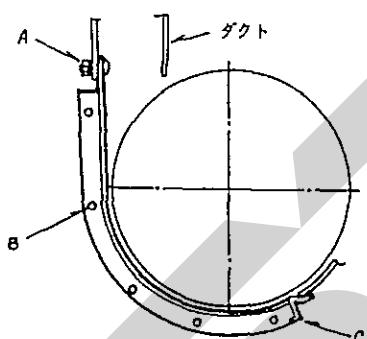


## 6. ナイフとボトムプレート隙間調整

ナイフを研磨すると、ボトムプレートとナイフ先端の隙間が大きくなり、吹上能力がおちてきます。

その場合には、下記要領でボトムプレートの調整をしてください。

- (1) ダクトとボトムプレートを止めているボルト（A部）は締めたままで、ボトムプレートの側面を止めているボルト（B部）を全て緩めます。
- (2) C部を押しだし、ナイフ先端との隙間を2～2.5mmに調整しボルトを締めてください。



## 7. 切断長さの調整

ナイフの枚数により調整します。

ナイフ枚数	6枚	3枚	9枚(オプション)
切断長さ	10mm	20mm	7mm

## 8. 機体姿勢の調整

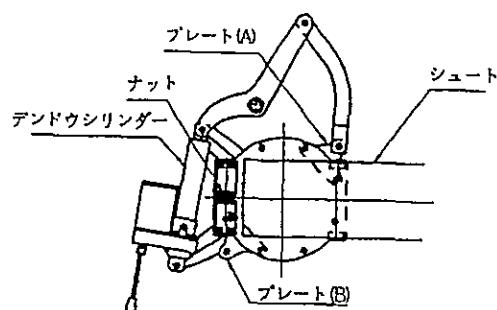
機体の高さはタイヤの取付位置により3段階に調整できます。

機体が一番低くなる位置がロークロップでの作業の標準高さです。機体が一番高くなる位置がピックアップアタッチでの作業の標準高さです。は場の条件で適時選択してください。

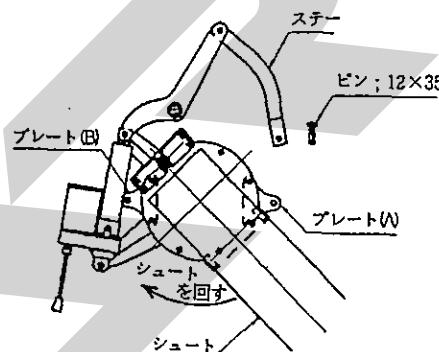
## 9. シュートの折りたたみ

本作業機は格納時には、シュートを進行方向に折りたたむことができます。

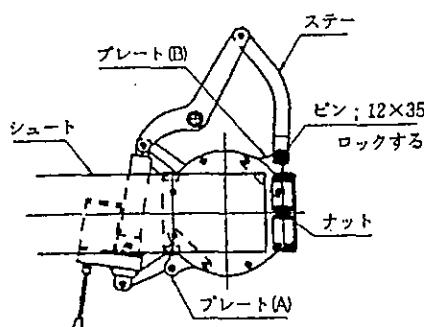
- (1) 作業時のセットのまま電動シリンダを最縮長にします。



- (2) ステーとプレート（A）を止めている頭付きピンをはずしシュートを廻します。



- (3) プレート（B）が（A）の位置に来ますのでステーとプレート（B）を頭付きピンで固定します。



- (4) フランジとシュートを止めているナットをはずします。シュートのステーをはずし、ステーをゆっくり引き下げ本体の受けにステーを固定します。

## 4 作業が終わったら

長持ちさせるために、手入れは必ずしましょう。

### ▲ 注意

- 動力を切らずに、回転部、可動部の付着物の除去作業を行うと、機械に巻き込まれてケガをすることがあります。  
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

### 1 作業後の手入れ

1. 機械の上にかかっている牧草等は、ほ場の中できれいに取り除いてください。  
特に、回転部に巻き付いた草は、シール部品、軸受部品などを傷つけますので、完全に取り除いてください。
2. ボルト、ナット、ピン類の緩み、脱落がないか。又、破損部品がないか確認してください。  
異常があれば、ボルトの増締め、部品の交換をしてください。
3. PTO軸、P I C軸、ジョイントスライン部など塗装されていない露出部は、さびを防ぐためグリースを塗布してください。

### 2 長期格納する時

1. 機体各部の清掃をしてください。
2. 摩耗した部品、破損した部品は、交換してください。
3. 純正箇所一覧表に基づき、油脂を補給してください。  
また、回転、回動支点及びパワージョイントのクランプピンを含む摺動部には注油し、PTO軸、P I C軸、パワージョイントのスライン部にはグリースを塗布してください。
4. 塗装損傷部は、補修塗装または油を塗布し、さびの発生を防いでください。
5. 格納は風通しのよい屋内に保管してください。

## 5 点検と整備について

調子よく作業するために、定期的に行いましょう。

機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、「点検整備一覧表」に基づき、各部の点検整備を行い、機械を最良の状態で、安心して作業が行えるようにしてください。

1 点 検 整 備 一 覧 表

### ▲ 注意

- P T O およびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。  
P T O を切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確かめて行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けず作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。  
元通りに取り付けてください。

時 間	チ ェ ッ ク 項 目	処 置
新規使用 1 時間	全ボルト・ナットのゆるみ	増し締め
使 用 每 (始業終業点検)	①機械の清掃 ②部品脱落・破損部 ③各部のボルト・ナットの緩み ④各部油もれ ⑤各部の油脂類 ⑥ナイフとシャバーのスキマ ⑦ブレーンロールとスクレーパのスキマ ⑧ナイフのスキマ ⑨ナイフ研磨 ⑩タイヤ空気圧	補充、交換 増し締め シールチェック 「2-3 給油箇所一覧表」に基づき給油・給脂 異常があれば 「3-3 各部の調整」に基づき調整
シーズン終了後	①各部の破損、摩耗 ②各部の清掃 ③各部の給油・給脂 ④チェーン、回動支点等の摩耗 ⑤塗装損傷部	早めの部品交換 「2-3 給油箇所一覧表」に基づき給油・給脂 早めの部品交換 塗装または油塗布

## 6 不調時の対応

### 1 点 檢 整 備 一 覧 表

#### ▲ 注意

- PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。  
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確かめて行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けず作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。  
元通りに取り付けてください。

症 状	原 因	処 置
シート・ヘッド が動かない	①バッテリとコントロールBOXの接続不良 ②ヒューズが切断 ③コントロールBOXスイッチ故障	配線をやり直す。白線(+)黒線(-) ヒューズを交換する。 スイッチを交換する。
切断物の飛びが 悪い	①供給物の水分が多い ②回転速度不足 ③ナイフとボトムプレートのスキマが大きい	供給物の水分調整をする。 適正回転速度にする。 「3-3-6 ナイフとボトムプレート隙間調整」に基づきナイフとボトムプレートの隙間を調整する。
フィードロール 食い込みが悪い	①供給量が多い ②ロールスプリングの張り不足	車速を落とす。 スプリング長さ250mmにする。
切 断 長 さ が 不 均 一 と な る	①ナイフが摩耗 ②ナイフとシャバーの隙間が大きい	「3-3-1 ナイフの研磨」に基づきナイフを研磨する。 「3-3-3 ナイフの調整」に基づきナイフを調整する。 「3-3-2 シャバーの調整」に基づきナイフとシャバーの隙間を再調整する。
馬 力 を 噫 う	①ナイフが摩耗	「3-3-1 ナイフの研磨」に基づきナイフを研磨する。 「3-3-3 ナイフの調整」に基づきナイフを交換する。

原因や処置のしかたがわからない場合は、下記事項とともに購入先にご相談ください。

1. 製品名
2. 部品供給型式
3. 製造番号
4. 故障内容（できるだけ詳しく）

# 7 部品表

## 部品のご注文について

1. 部品ご注文の際は、下記項目をご連絡ください。

- ①製品名
- ②部品供給型式（型式）
- ③部品名称（部品表を参照してください。）
- ④部品番号（部品表を参照してください。）
- ⑤個数（部品表を参照してください。）

\*部品供給型式は取説・部品表表紙および本体に貼付のネームプレートに表示しています。

2. 部品名称欄に「①\_付」と表示している部品には、該当見出番号の部品が含まれております。

例

見出番号	部品番号	部品名称	個数
1	92602	シャフト	①2付
2	ONAS6	グリースニップル; A-M6×1F	6

このシャフトには、見出番号2のグリースニップルが取り付けられている事を示します。

3. 使用型式により部品番号や個数が異なる場合は、部品名称欄に注記していますのでご注意ください。

4. ボルト・コネジ・ナット類の部品番号末尾に記載されている英文字は以下のことを表しております。

(例) B Z 0 8 1 5 A (G)

〔 〕 (メッキ仕上げ)

A ; ナット・スプリングワッシャ付

D ; ナット2個付

N ; ナット付

P ; ワッシャ付

W ; スプリングワッシャ付

5. 個数欄の □、☑は、以下のことを表しております。

□ … シムなど、組み込まれている個数が製品個々により異なる部品

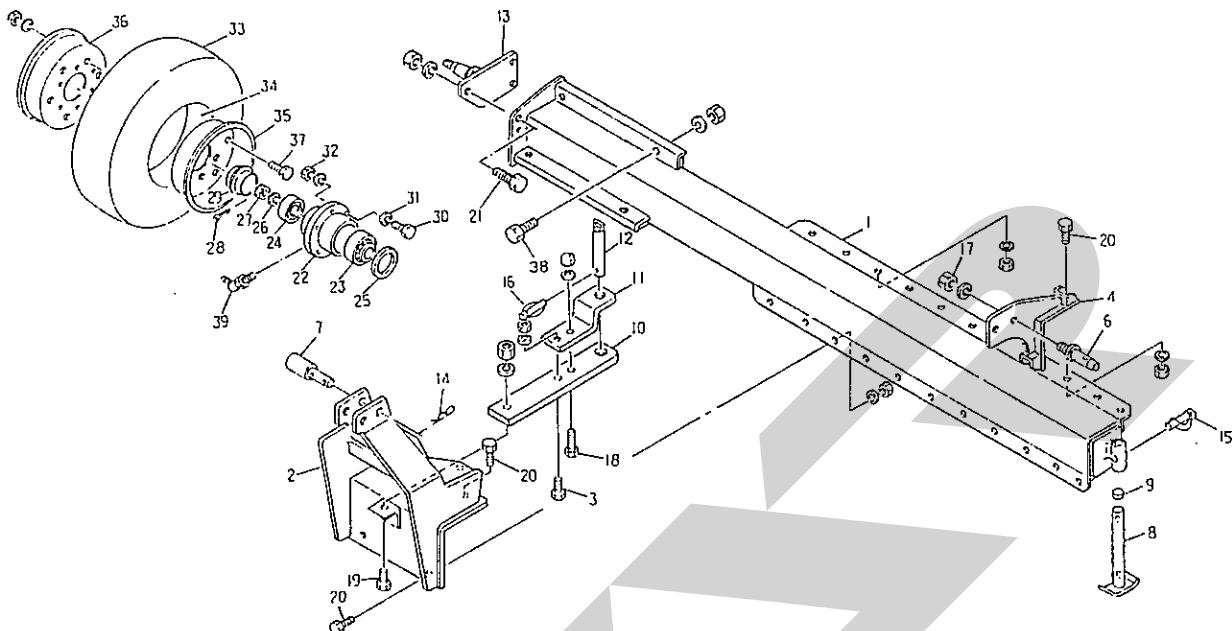
☑ … アッセイ品に含まれる部品で単品では供給しない部品

## 補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。

補修部品の供給は原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合は納期および価格についてご相談させていただきます。

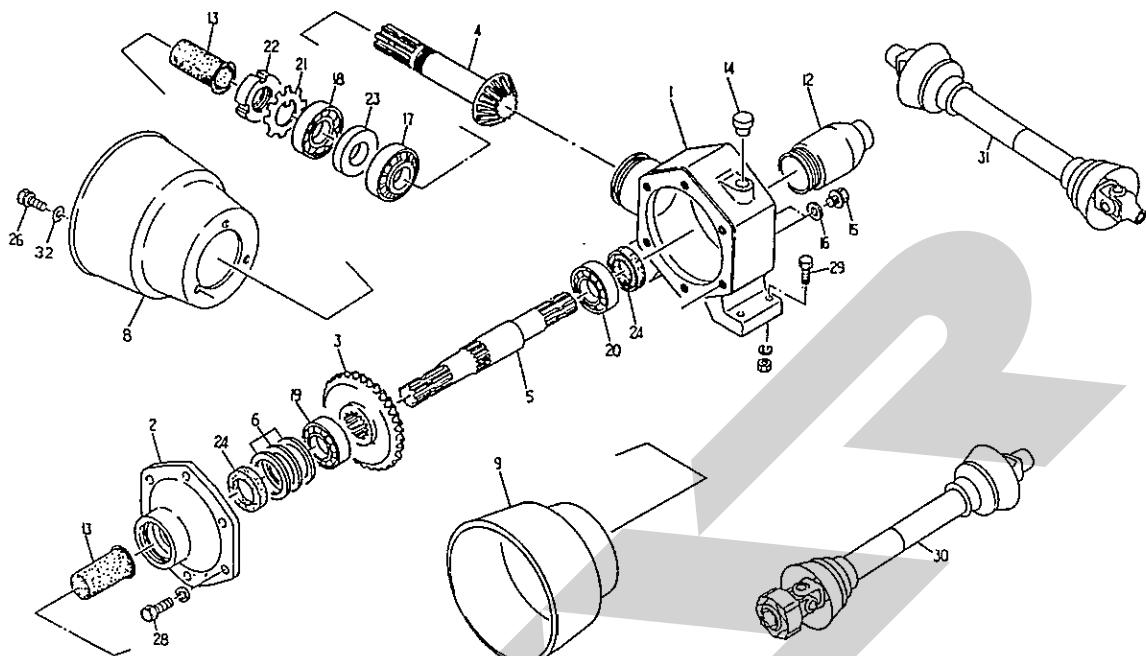
MCH2820 コーンハーベスター  
イクステンションバー、タイヤ、ハブ



115 11-3

出番	部品番号	部品名称	個数	見出番号	部品番号	部品名称	個数
O 1	82556	イクステンションバー	1	●26	WRA24G	ワッシャ; M24	1
O 2	82557	トップマスト	1	27	00712	キャスルナット; M24×1.5	1
● 3	BZ1670AG	ボルト; M16×80(8.8)	1	●28	PC4032G	ワリピン4×32	1
4	82558	ロワーリング	2	29	00414	キャップ; 52	1
				30	00421	ボルト; M12×1.5×45	6
6	00011	ロワーリング ④17付	2	●31	WS12G	Sワッシャ; M12	12
7	00098	トップリングピン	1	●32	NZ12150G	ナット; M12×1.5(8)	6
8	00071	スタンド; 250	1	33	55529	タイヤ; 6.00-9-10PR	1
9	00458	キャップ; 29	1	34	55530	チューブ; 6.00-9	1
10	81197	ヒッチバー	1	35	64906	ホイール; 4.00-E-9DT ④36付	1
11	80960	ブラケット	1	36	64907	ホイール; 4.00-E-9DT(バルブ穴付)	1
12	72927	ピン	1	●37	BZ1225AG	ボルト; M12×25(8.8)	6
13	85316	シャジク	1	●38	BZ1645AG	ボルト; M16×45(8.8)	4
14	00088	ベータピン; 19×3	1	●39	ONBS1G	グリースニップル; B-PT1/8	1
15	00453	デルタピン; 9	1				
16	00739	リンチピン; 9	1				
●17	NZ24150WG	ナット; M24×1.5(8)	2				
●18	BZ1660AG	ボルト; M16×60(8.8)	1				
●19	BZ1650AG	ボルト; M16×50(8.8)	1				
●20	BZ1640AG	ボルト; M16×40(8.8)	8				
●21	BZ1440AG	ボルト; M14×40(8.8)	3				
22	00406	ハブ	1				
●23	J30207	テーパベアリング; 30207	1				
●24	J30205	テーパベアリング; 30205	1				
25	00500	シールワッシャ; 35×72	1				

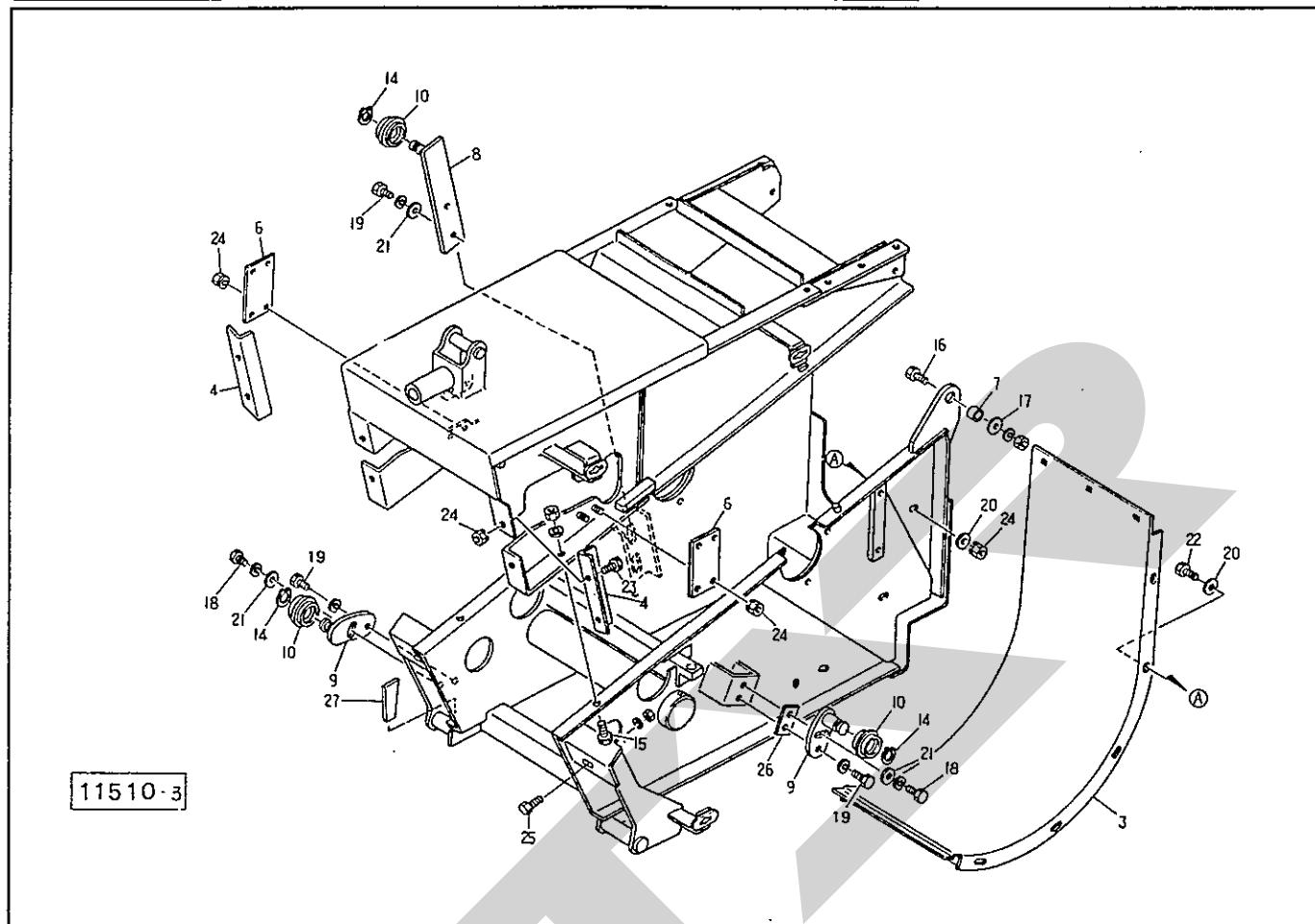
MCH2820 コーンハーベスター  
ギヤボックス



11514-2

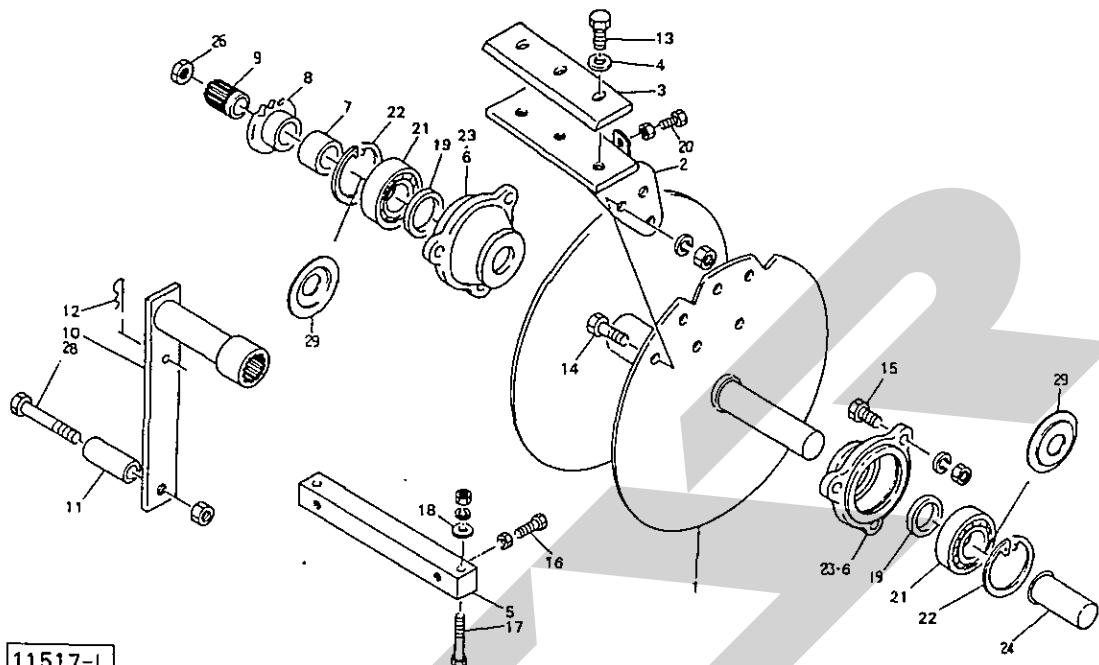
見出番号	部品番号	部品名称	個数	見出番号	部品番号	部品名称	個数
1	92937	ギヤケース	1	●26	BP0816	スプリングボルト; M8×16	3
2	81088	サイドキャップ	1				
3	79978	ペベルギヤ; 35T	1	●28	BZ1030WG	ボルト; M10×30(8.8)	6
4	79979	ペベルピニオン; 16T	1	●29	BZ1245AG	ボルト; M12×45(8.8)	4
5	81089	シャフト	1	Asy	92937Asy	ギヤケース(クミ) ①~28付	1
6	82882	シム	—	30	6213-2	パワージョイント; OWALA-50	1
				31	6314-4	パワージョイント; LA-80	1
8	00827	PICカバー; I	1	32	44097	ワッシャ; 8	3
9	00824	PICカバー; II	1				
12	34616	ガード	1				
13	00096	PICキャップ; 35	2				
14	00717	チューユセン; 23	1				
15	00338	プラグ; M10	2				
16	00339	パッキン(M10プラグ用)	2				
●17	J30208	テープベアリング; 30208	1				
●18	J6208 LLU	ベアリング; 6208 LLU	1				
●19	J6208	ベアリング; 6208	1				
●20	J6207	ベアリング; 6207	1				
●21	WAW08	ベアリングワッシャ; AW08	1				
●22	NJAN08	ベアリングナット; AN08	1				
●23	D407210	オイルシール; D407210	1				
●24	D35558	オイルシール; D35558	2				

## MCH2820 コーンハーベスター フレーム



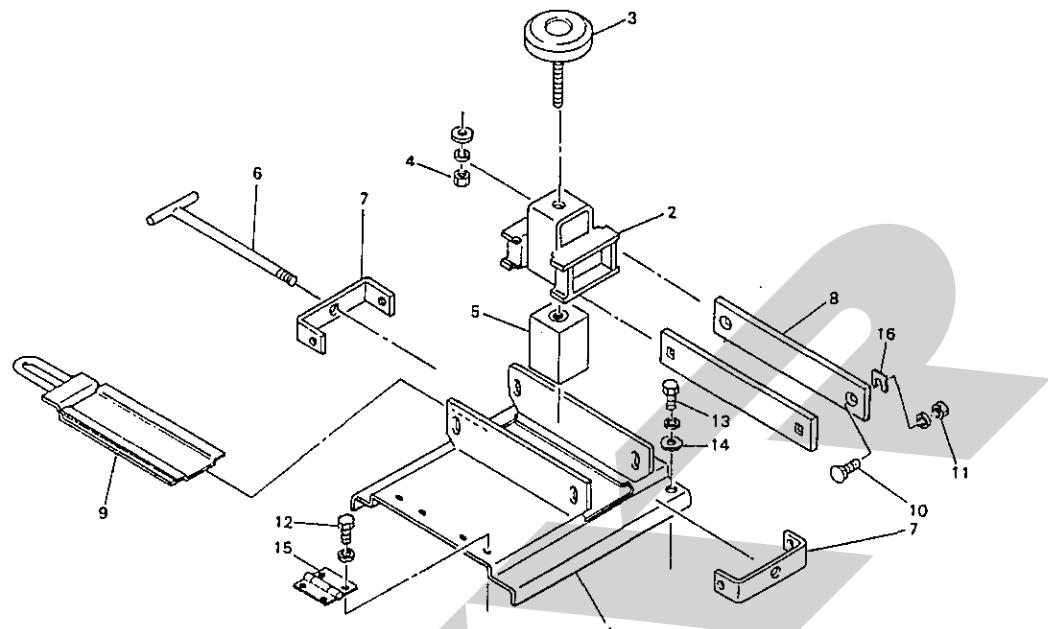
部品番号	部品名	個数	部品番号	部品名	個数
		26	82377	プレート	2
		27	81180	ロックプレート	2
3 81145	ボトムプレート	1			
4 90280	アングル	2			
6 81148	プレート	2			
7 81149	カラー	2			
8 81150	テンションアーム	1			
9 61993	テンションアーム	2			
10 81267	テンションロール	3			
●14 DC17	スナップリング；S17	3			
●15 BZ1225AG	ボルト；M12×25(8.8)	2			
●16 BZ1250AG	ボルト；M12×50(8.8)	2			
17 67931	ワッシャ；12	2			
●18 BZ1035WG	ボルト；M10×35(8.8)	2			
●19 BZ1025WG	ボルト；M10×25(8.8)	4			
20 44097	ワッシャ；8	20			
21 44098	ワッシャ；10	4			
●22 BZ0825G	ボルト；M8×25(8.8)	10			
●23 BZ0820G	ボルト；M8×20(8.8)	4			
●24 NP08	スプリングナット；M8	22			
●25 BZ1430AG	ボルト；M14×30(8.8)	2			

MCH2820コーンハーベスター  
フライホイール



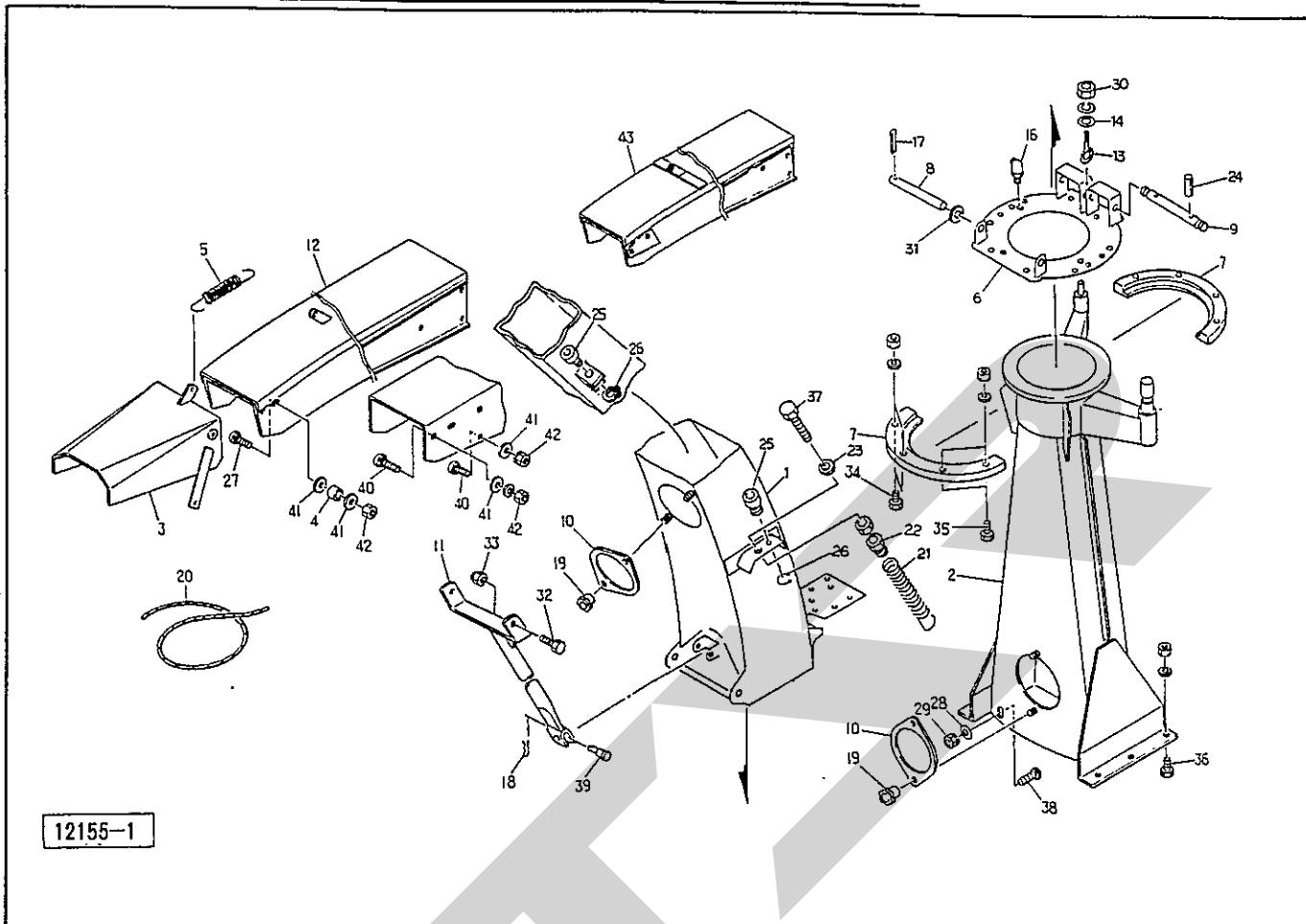
部品番号	部品名称	個数	部品番号	部品名称	個数
1 85800	フライホイール	1	26 85801	ロックナット; M20×1	1
2 81094	ナイフホルダ	6			
3 81095	ナイフ	6	●28 BZ1290NG	ボルト; M12×90(8.8)	1
4 81029	ハイテンションワッシャ; 14	18	29 81098	シールキャップ	2
5 81096	シャバー	1			
6 92119	ハウジング	2			
7 81101	カラー	1			
8 81100	スプロケット; 14T	1			
9 85003	アダプタ	1			
10 62494	ハンドル	1			
11 24118	クリップ	1			
12 00087	ベータピン; 16×2.3	1			
●13 BZT1430G	ボルト; M14×1.5×30(10.9)	18			
●14 BZT1430AG	ボルト; M14×30(10.9)	36			
●15 BZ1440AG	ボルト; M14×40 (8.8)	6			
●16 BZA1250NG	ボルト; M12×50全ねじ(8.8)	2			
●17 BZ1270AG	ボルト; M12×70(8.8)	2			
18 72013	ハイテンワッシャ; M12	2			
●19 D40558	オイルシール; D40558	2			
●20 BC0835NG	ボルト; M8×35全ねじ(ステンレス)	12			
●21 J6307LLU	ボールベアリング; 6307LLU	2			
●22 DHC80	スナップリング; H80	2			
●23 ONBS6	グリースニップル; B-M6×1F	2			
24 00096	PICキャップ	1			

## MCH2820 コーンハーベスタ グラインダ



11287-1

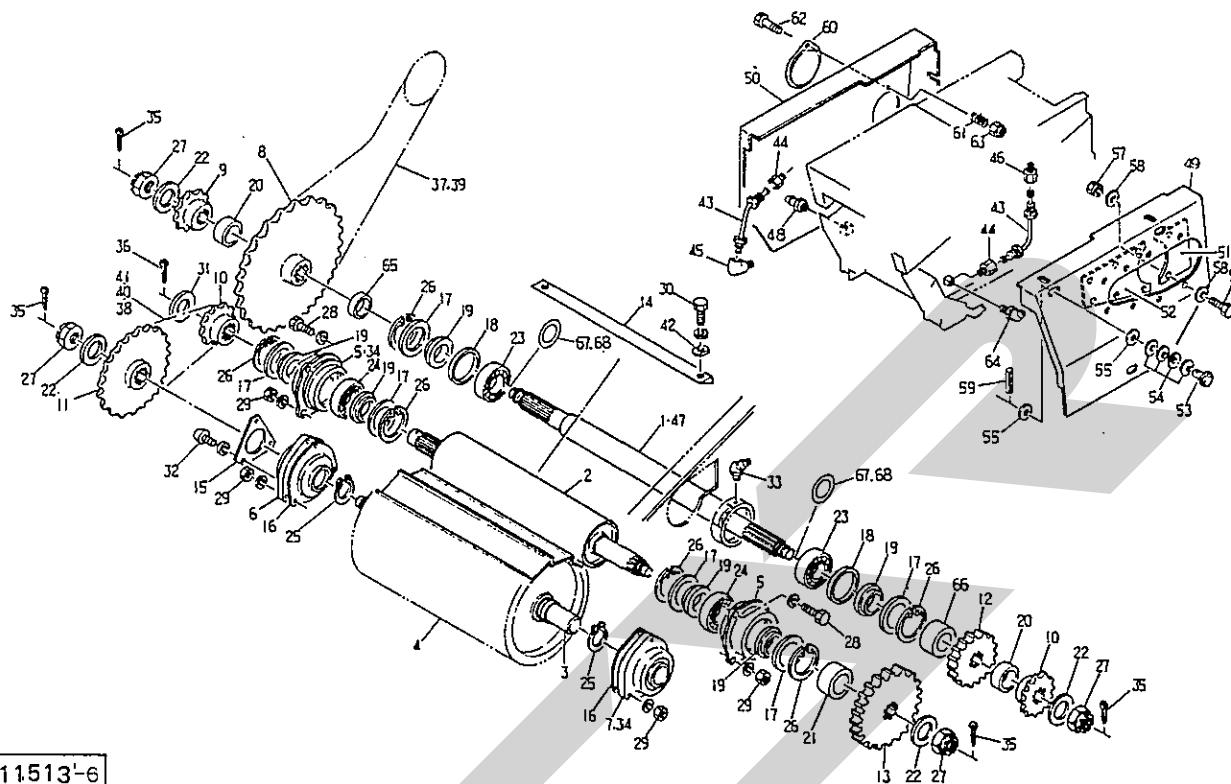
## MCH2820 コーンハーベスター シート



品番号	部品番号	部品名称	個数	品番号	部品番号	部品名称	個数
1	96532	シート	1	●26	DC20	スナップリング；S 20	2
2	82514	ダクト	1	●27	00443	カクネボルト；M 10×35 ( 8.8 )	3
3	90612	ヘッド	1	28	44097	ワッシャ；8	3
4	84346	カラー	3	●29	NP08G	スプリングナット；M 8	3
5	84083	スプリング	1	●30	NZ12WG	ナット；M 12	1
6	99713	フランジ	1	31	42322	ワッシャ；16	2
7	74657	ホイール	2	●32	BZ1030G	ボルト；M 10×30 ( 8.8 )	2
8	82513	ピン	1	●33	NN10G	ナイロンナット；M 10	2
9	96534	ピン	1	●34	BZ1045AG	ボルト；M 10×45 ( 8.8 )	4
10	55640	フランジ	2	●35	BZ1035AG	ボルト；M 10×35 ( 8.8 )	4
11	82657	ステー	1	●36	BZ1025AG	ボルト；M 10×25 ( 8.8 )	6
12	82520	イクステンションシート	1	●37	BZ12100NG	ボルト；M 12×100 ( 8.8 )	2
●13	96536	アイボルト	1	38	55474	カクネボルト；M 8×20 ( 8.8 )	3
14	67931	ワッシャ；12	1	39	76132	ピン	1
				40	00451	カクネボルト；M 10×25 ( 8.8 )	6
●16	ONBS 6	グリースニップル；B-M 6×1F	4	41	44098	ワッシャ；10	12
●17	PC3232G	ワリピン；3.2×32	2	●42	NZ10WG	ナット；M 10 ( 8 )	9
18	00085	ペータピン；8×1.6	1	43	91794	イクステンションシート(長)	※ 1
19	44289	ニギリ；M 8	4				
20	82678	ロープ；4.5×3500	1				
21	96535	スプリング；H 70×36×585	2				
22	70286	スプリングホルダ	2				
23	25266	キューメンザガネ	2				
24	PS5032	スプリングピン；5×32	2				
25	66672	ガイド	2				

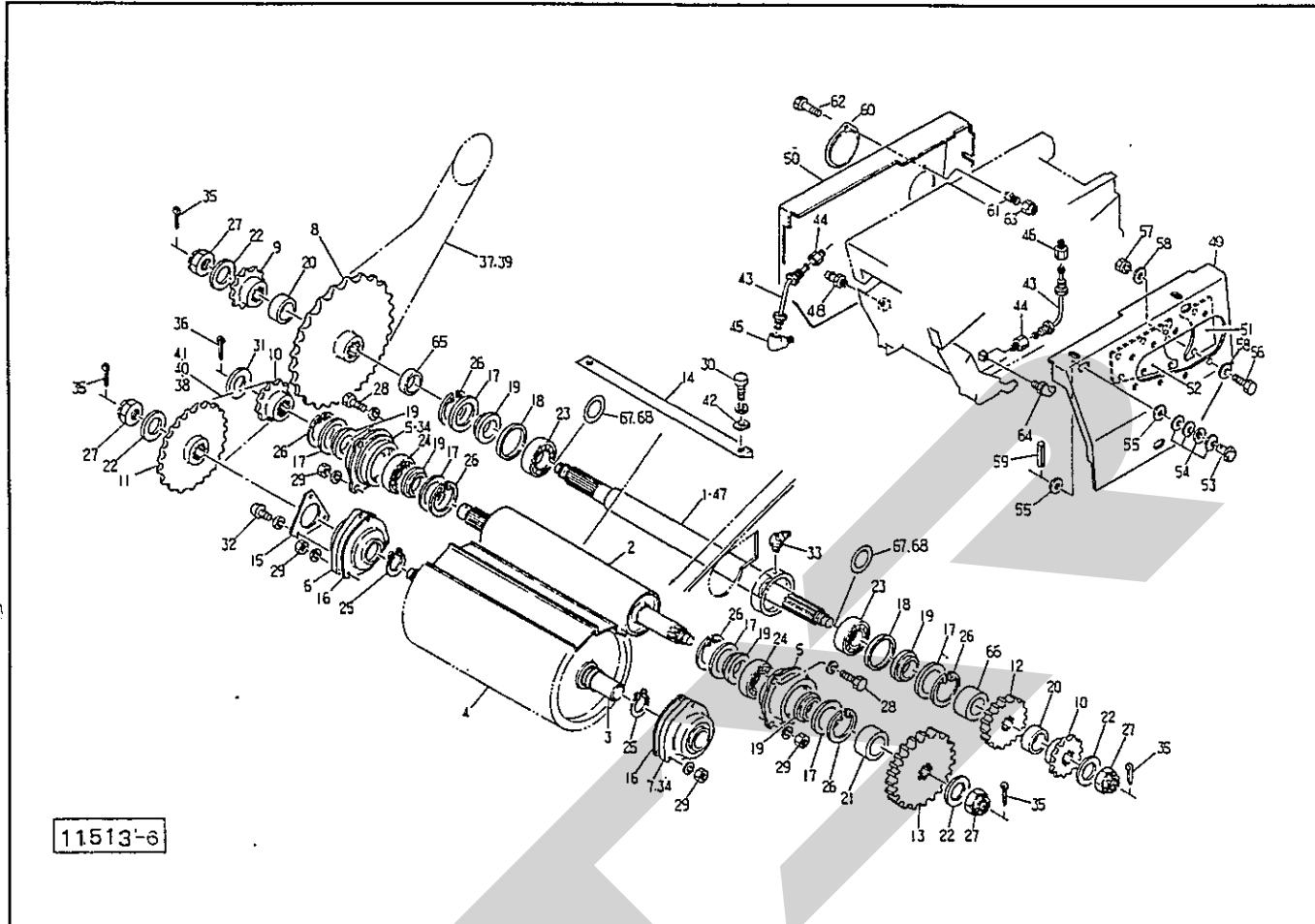
※オプション

MCH2820コーンハーベスター  
ボトムロール、カウンタ



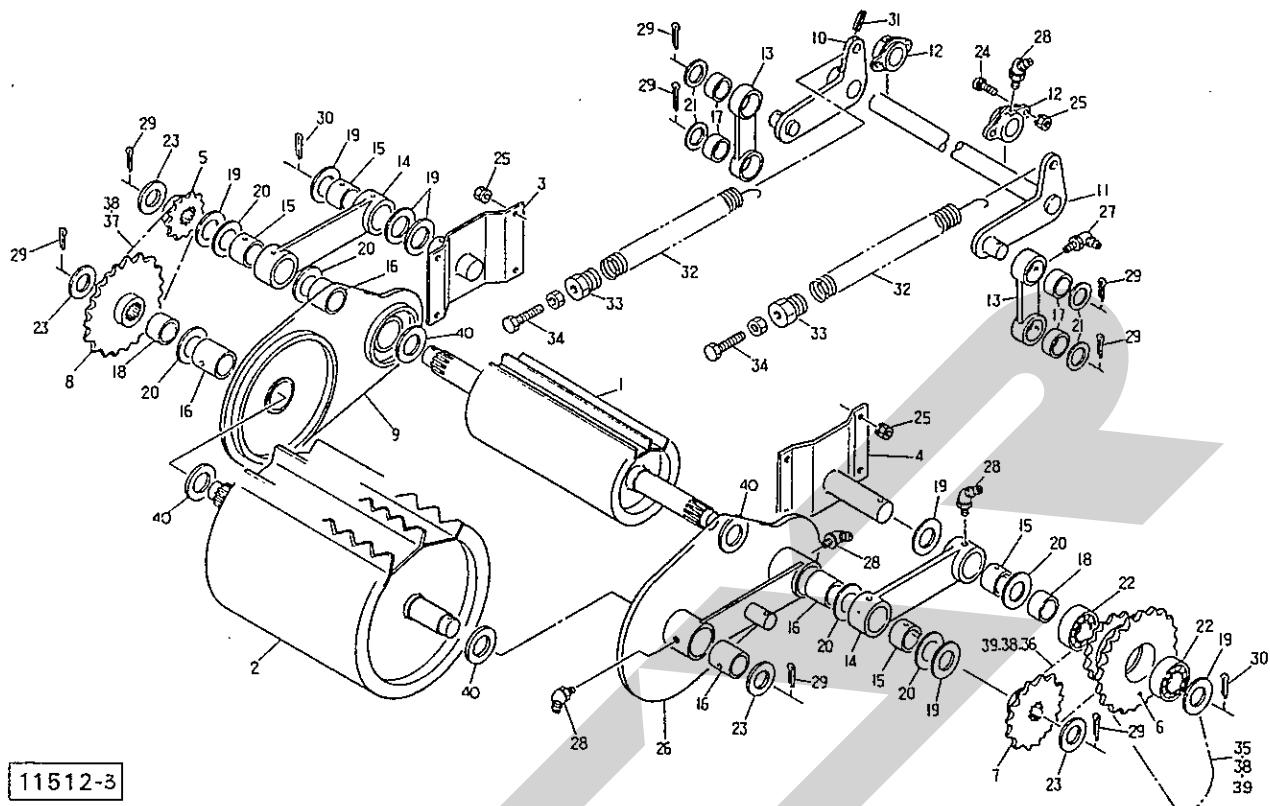
品番	部品番号	部品名称	個数	品番	部品番号	部品名称	個数
1	89693	シャフト；カウンタ	1	●26	DHC62	スナップリング；H 6.2	6
2	81103	ブレーンロール	1	●27	NC20150	キャッスルナット(低形・2種)；M 20×1.5	4
3	81104	シャフト；フロント	1	●28	BZ1025WG	ボルト；M 10×25 (8.8)	2
4	81105	フロントロール	1	●29	NZ10WG	ナット；M 10 (8)	10
5	81106	メタル	2	●30	BZ0820PWG	ボルト；M 8×20 (8.8)	2
6	00730	メタル；UC206	1	●31	WRA24G	ワッシャ；M 2.4	1
7	00732	メタル；UEL206	1	●32	CP0612WG	ナベコネジ；M 6×1.2	3
8	81107	スプロケット；38T	1	●33	ONBS6G	グリースニップル；R-M 6×1F	1
9	81108	スプロケット；14T	1	●34	ONCS6G	グリースニップル；C-M 6×1F	2
10	81109	スプロケット；13T	2	●35	PC4040G	ワリピン；4×4.0	4
11	81110	スプロケット；30T	1	●36	PC5036G	ワリピン；5×3.6	1
12	81111	ギヤ；17T	1	●37	LA6066	ローラチェーン；RS 6.0×6.6 ④39付	1
13	81112	ギヤ；27T	1	●38	LD5041	ローラチェーン；RS 5.0×4.1 ④40, 41付	1
14	81113	スクレーパ	1	●39	AB60	ツギテ；6.0	1
15	81114	プレート	1	●40	AA50	ツギテ；5.0	1
16	00473	メタルカバー	2	●41	AD50	1ピッチオフセット；9.0	1
17	81115	プレート	6	42	94311	ワッシャ	2
18	81116	カラー	2	43	82354	ポリチューブ；1.2.0	2
19	81117	カラー	6	44	869932	S Fツギテ； $\frac{1}{8}$	2
20	81118	カラー	2	45	864206	L Fツギテ；M 6	1
21	80433	カラー	1	46	864106	S Fツギテ；M 6	1
22	46001	ワッシャ；2.0	4	●47	ONAS6G	グリースニップル；A-M 6×1F	1
●23	J6206LLU	ボールベアリング；6206LLU	2	●48	ONAS1G	グリースニップル；A-PT $\frac{1}{8}$	1
●24	JUC206LLU	ユニットベアリング；CS206LLU	2	49	82375	カバー；L	1
●25	DC35	スナップリング；S 3.5	2	50	86233	カバー；R	1

MCH2820 コーンハーベスター  
ボトムロール、カウンタ



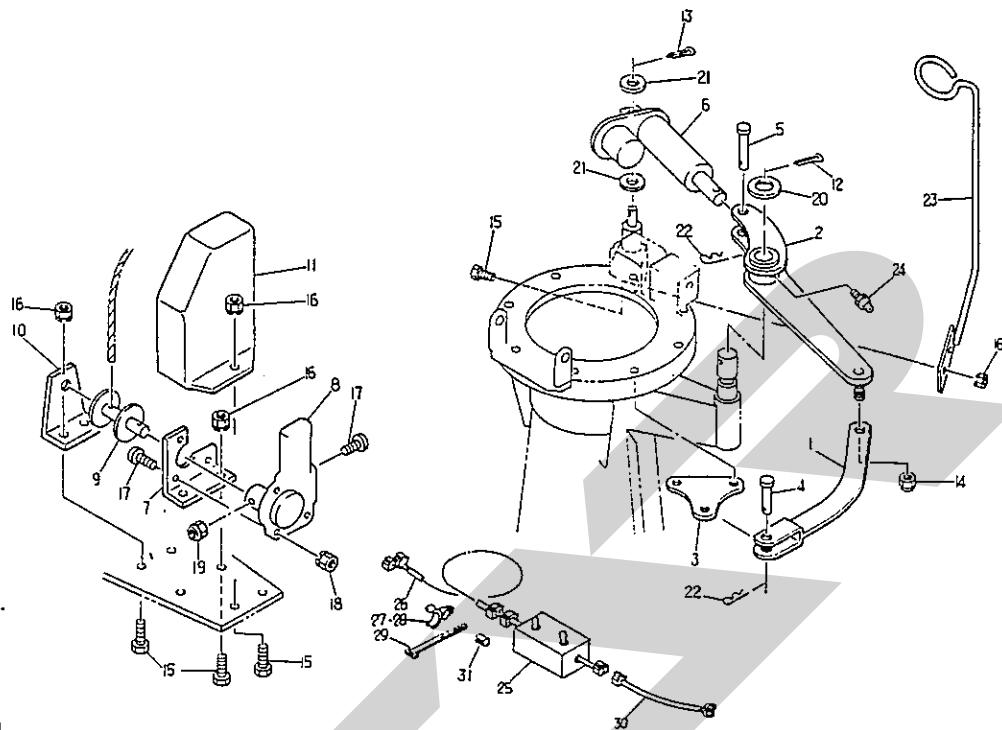
## MCH2820 コーンハーベスター

## トップロール



部品番号	部品名稱	個数	部品番号	部品名稱	個数
1 83162	リヤロール	1	26 83168	ロールアーム; L	1
2 83163	フィードロール	1	●27 ONCS6G	グリースニップル; C-M6×1F	4
3 81119	プラケット; R	1	●28 ONBS6G	グリースニップル; B-M6×1F	10
4 84095	プラケット; L	1	●29 PC5036G	ワリピン; 5×36	8
5 81109	スプロケット; 13T	1	●30 PC5056G	ワリピン; 5×56	2
6 81122	スプロケット; 18T×28T	1	●31 PS6040	スプリングピン; 6×40	1
7 81123	スプロケット; 20T	1	32 79040	スプリング	2
8 81124	スプロケット; 28T	1	33 55480	スプリングホルダ	2
9 83164	ロールアーム; R	1	●34 BZA1060NG	ボルト; M10×60 全ネジ(8.8)	2
10 81126	シフトアーム; R	1	●35 LA5057	ローラチェーン; 50×57 (④38付)	1
11 81128	シフトアーム; L	1	●36 LD5041	ローラチェーン; 50×41 (④38,39付)	1
12 81129	メタル	2	●37 LA5046	ローラチェーン; 50×46 (④38付)	1
13 81130	リフトアーム	2	●38 AA50	ツギテ; 50	3
14 81131	アーム	2	●39 AD50	1ピッチオフセット; 50	2
15 81132	ブッシュ	4	40 96104	ワッシャ	4
16 59309	ブッシュ	4			
17 70289	ブッシュ	4			
18 81118	カラー	2			
19 74063	ワッシャ	7			
20 59312	カラー	6			
21 58125	ワッシャ	4			
●22 J6006LLU	ボールベアリング; 6006LLU	2			
●23 WRA24G	ワッシャ; M24	4			
24 59483	カクネボルト; M8×25(8.8)	4			
●25 NP08G	スプリングナット; M8	12			

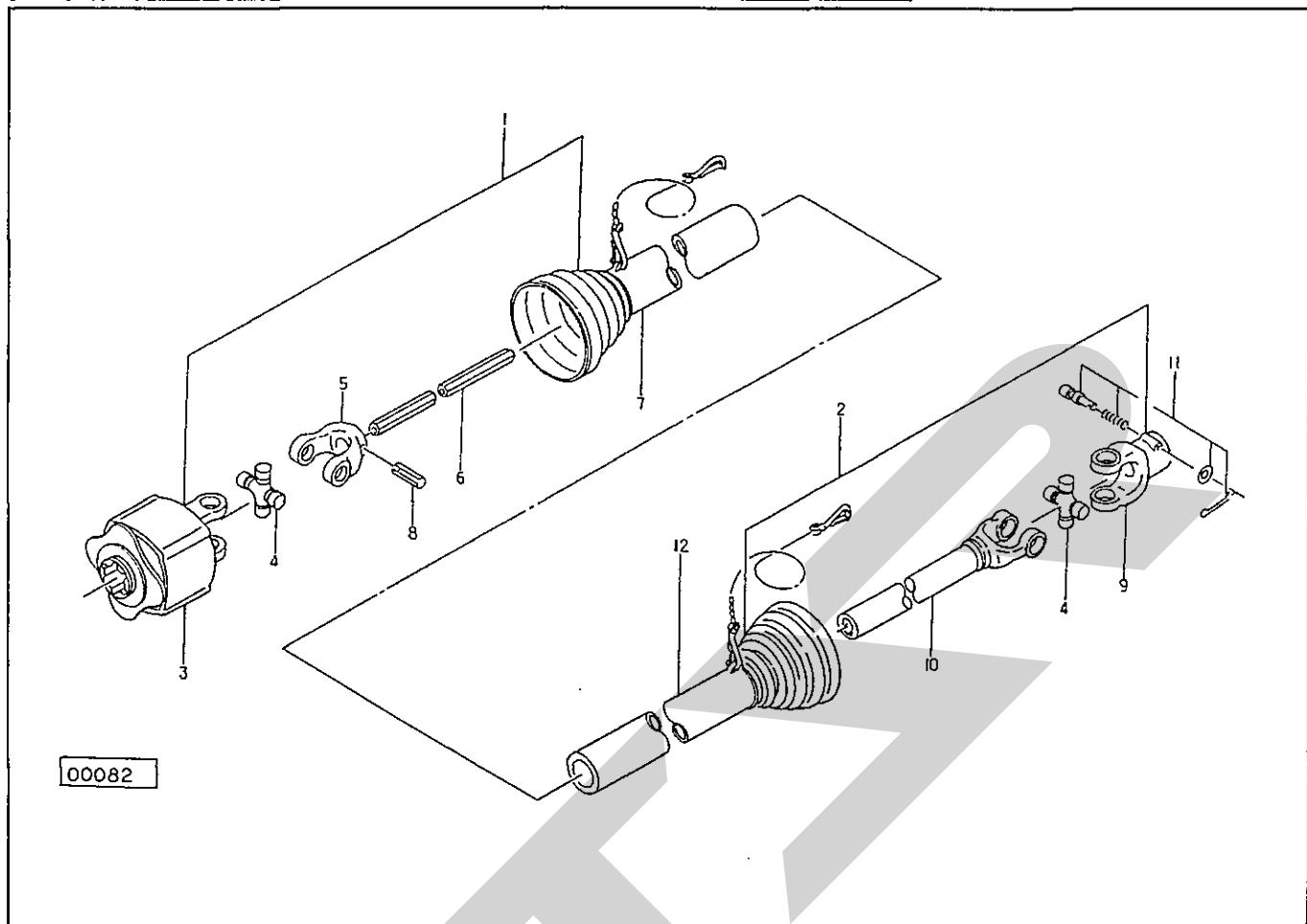
MCH2820 コーンハーベスター  
シートコントロール



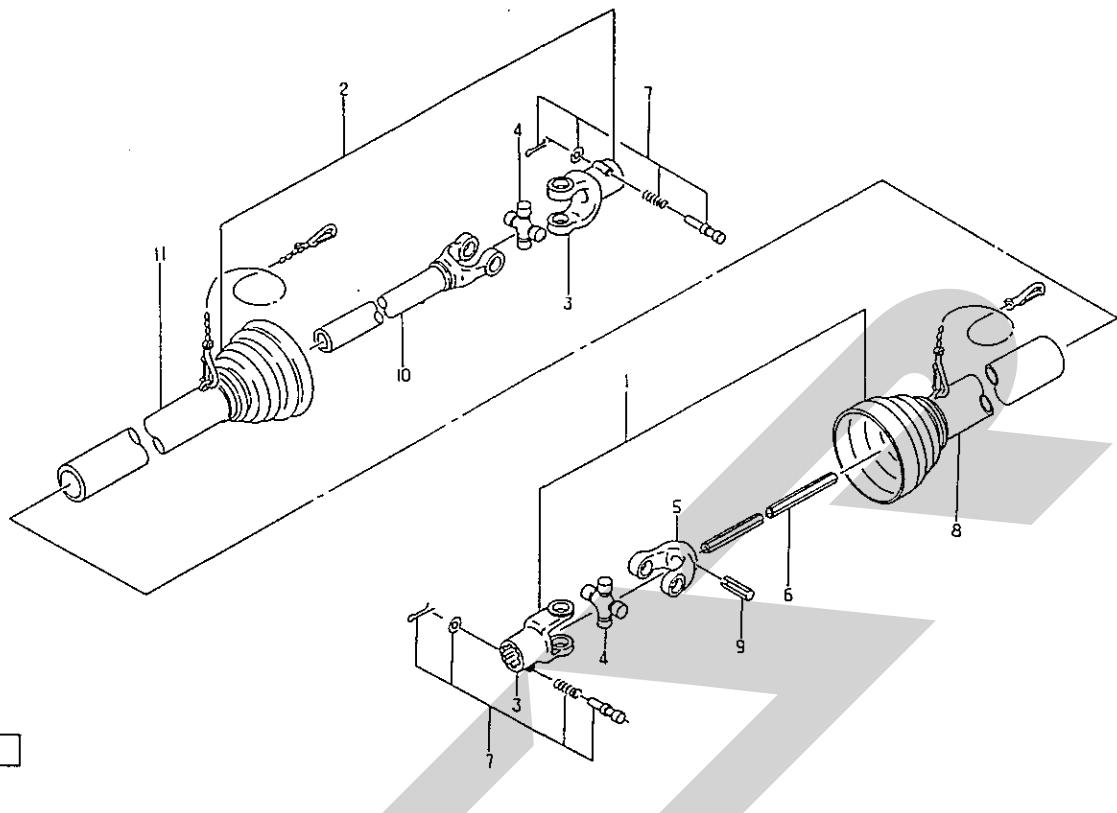
11518-3

品番号	部品番号	部品名称	個数	品番号	部品番号	部品名称	個数
1	82348	ステー	1	26	82144	コード	1
2	82349	ブラケット	1	●27	EZAIS	パイラック; IS型	1
3	74668	プレート	2	●28	EZB15C	パイラッククリップ; 15-C	1
4	00062	アタマツキピン; 12×35	1	●29	ILT50R	インシュロック; T50R	3
5	00066	アタマツキピン; 12×55	1	30	82143	コード	①32付
6	82353	デンドウシリンド	1	31	71685	パイプ	1
7	70347	ブラケット	1	32	FU30A	ヒューズ; 30A	1
8	70351	パワーウィンドモータ	1				
9	72942	ブーリー	1				
10	72944	アングル	1				
11	70343	カバー	1				
●12	PC5036G	ワリピン; 5×36	1				
●13	PC3216G	ワリピン; 3.2×16	1				
●14	NN10G	ナイロンナット; M10	1				
●15	BZ0820G	ボルト; M8×20 (8.8)	8				
●16	NP08G	スプリングナット; M8	8				
●17	CP0625G	ナベコネジ; M6×25	4				
●18	NP06G	スプリングナット; M6	3				
●19	NN06G	ナイロンナット; M6	1				
●20	WRA24G	ワッシャ; M24	1				
21	42783	ワッシャ; 12	2				
22	00085	ベータピン; 8×1.6	2				
23	82522	コードウケ	1				
●24	ONAS6G	グリースニップル; A-M6×1F	1				
25	82142	スイッチボックス	1				

## OWALA-50 パワージョイント



LA-80  
パワージョイント



調整

S-960708N

本 社	066	千歳市上長部 1061番地2 TEL 0123-26-1123 FAX 0123-26-2412
千歳営業所	066	千歳市上長部 1061番地2 TEL 0123-22-5131 FAX 0123-26-2035
旭川営業所	070	旭川市神楽4条9丁目3番31号 TEL 0166-61-6131 FAX 0166-62-8985
豊富出張所	098-41	天塩郡豊富町字上サロベツ1191番地 TEL 0162-82-1932 FAX 0162-82-1696
帯広営業所	080-24	帯広市西22条北1丁目12番地 TEL 0155-37-3080 FAX 0155-37-5187
北見出張所	090	北見市小泉 302 TEL 0157-24-3880 FAX 0157-61-1344
中標津営業所	086-11	標津郡中標津町北町2丁目16番2 TEL 01537-2-2624 FAX 01537-3-2540
花巻営業所	025-03	岩手県花巻市二枚橋第三地割333-1 TEL 0198-26-5741 FAX 0198-26-5746
仙台営業所	985	宮城県多賀城市町前2丁目4番27号 TEL 022-367-4573 FAX 022-367-4846
小山営業所	307-02	栃木県小山市梁2512-1 TEL 0285-49-1500 FAX 0285-49-1560
名古屋営業所	480-01	愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字南屋敷191 TEL 0587-93-6888 FAX 0587-93-5416
岡山営業所	700	岡山県岡山市下中野 704-103 TEL 086-243-1147 FAX 086-243-1269
熊本営業所	862	熊本県熊本市長嶺町2255-429 TEL 096-381-7222 FAX 096-384-3525
都城営業所	885	宮崎県都城市都北町3537-1 TEL 0986-38-1045 FAX 0986-38-4644